

多治見砂防国道事務所
令和8年度　事業概要



瑞浪市土岐町（令和8年2月撮影）

国土交通省　中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

主な業務

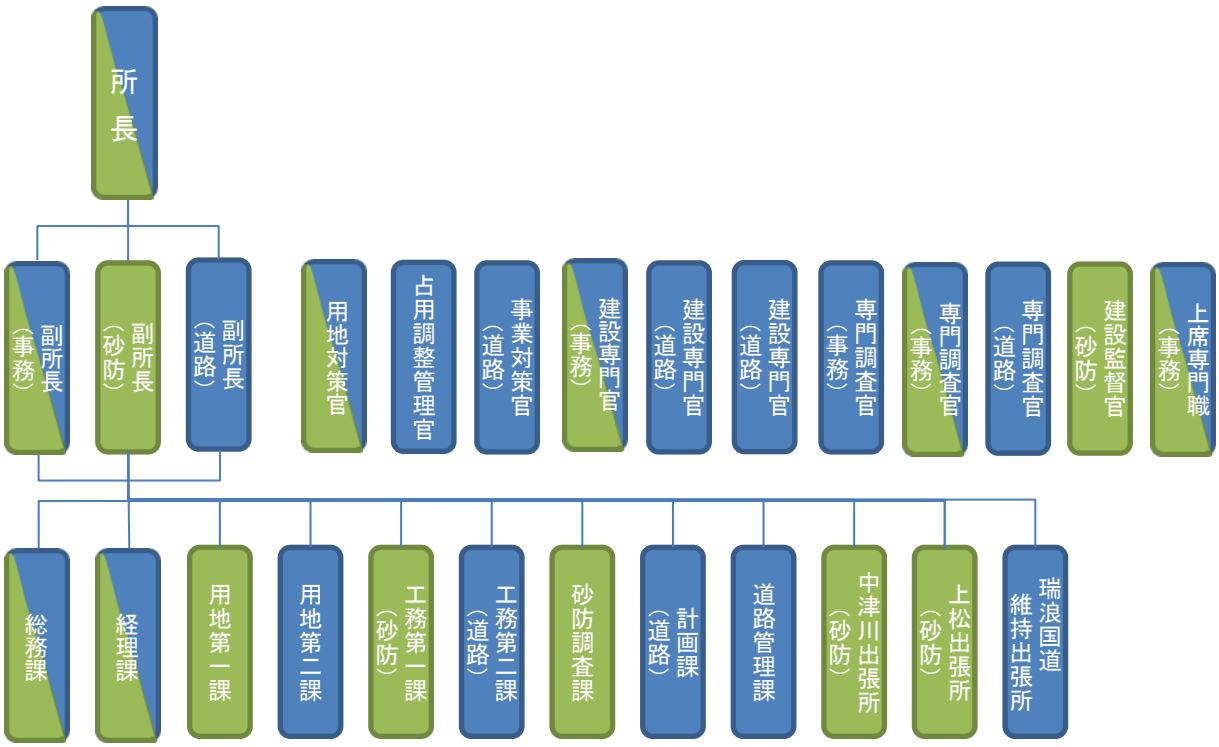
砂防事業

◆ 木曽川水系及び庄内川水系の砂防工事
◆ 木曽川水系及び庄内川水系の砂防調査

道路事業

◆ 19号及び21号の改築工事
◆ 19号及び21号の維持･修繕、交通安全、危険法面の防災対策、道路情報提供、道路に係る許認可事務及び道路利用適正化のための指導取締等
◆ 管内地域の道路計画調査

多治見砂防国道事務所　組織図





滑川第１砂防堰堤［上松町］



額付第１砂防堰堤［南木曽町］



木曽川水系砂防



川上流路工［中津川市］

令和８年度 砂防事業の概要

国土交通省　中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

多治見砂防国道事務所における砂防事業の概要

- 多治見砂防国道事務所では、木曽川上流域の7支川等の流域面積538.0km²及び庄内川（土岐川）の7支川等の流域面積149.7km²に係る直轄砂防事業と御嶽山火山噴火に係る減災対応を実施しています。
- 主な実施区域は、庄内川の２市（多治見市・土岐市）、木曽川の1市２町１村（中津川市・木曽郡上松町・大桑村・南木曽町）となります。



【庄内川砂防】

庄内川（土岐川）流域は、陶土採掘や山林伐採による林地の荒廃が著しく、昭和32年8月豪雨災害などの土砂災害の再度災害防止を目的に砂防事業を実施しています。

（施設整備状況）

令和7年度末時点で、
庄内川水系内の直轄砂防施設は277施設
（砂防堰堤210施設,渓流保全工67施設）
整備されています。



漫画「進撃の巨人」
協力：諫山創／講談社

深山谷第１砂防堰堤 ［多治見市］

※モザイクデザインは、講談社より使用許可を得たものを多治見西高校まんが部の生徒によりデザインされたものです。その後、笠原陶磁器工業共同組合によりモザイクタイル化したものを砂防堰堤に設置しています。

【木曽川砂防】

木曽川上流域は、林地の荒廃が著しく、昭和36年梅雨前線豪雨災害(三六災害)などの土砂災害の再度災害防止を目的に砂防事業を実施しています。

（施設整備状況）

令和7年度末時点で、
木曽川水系内の直轄砂防施設は213施設
（砂防堰堤194施設,渓流保全工19施設）
整備されています。



四ツ目遊砂工 ［中津川市］

庄内川水系の概要

流域の概要

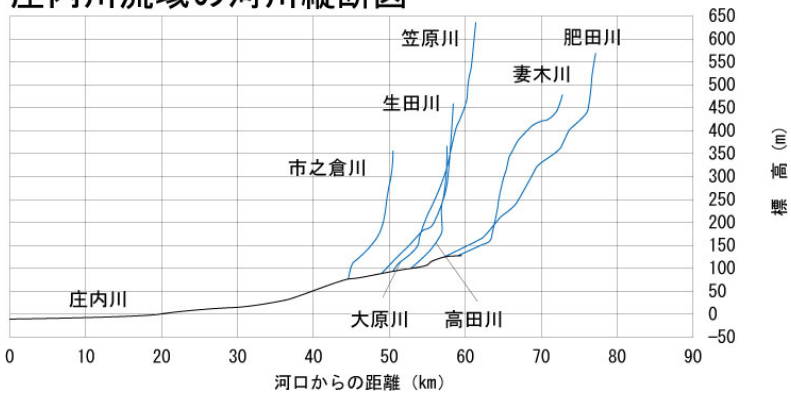
庄内川（土岐川）は、その源を岐阜県恵那市山岡町の夕立山（標高727m）に発し、幾多の渓流を合わせて流下し愛知県に入り、名古屋市の北西部を貫流し伊勢湾に流入する流路延長96km、流域面積1,010㎢の一級河川です。なお、庄内川は、岐阜県内では土岐川と呼ばれています。

庄内川（土岐川）直轄砂防流域は、肥田川、妻木川、生田川、笠原川、市之倉川、高田川、大原川の各支川が流れ込む土岐川下流部の2市（多治見市・土岐市）にわたる流域面積149.7km²の流域です。

都市化による危険性の増大

人口増加が著しくなった高度成長期からは、山裾近くまで宅地開発による都市化が進み、土砂災害の危険性がより高まっています。

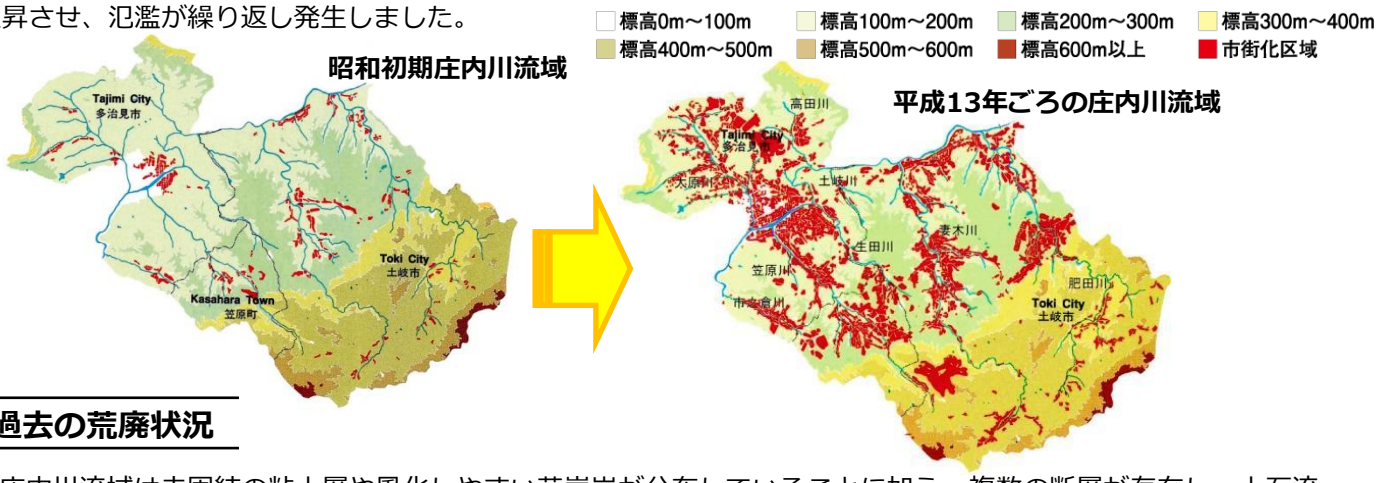
庄内川流域の河川縦断図



窯業の発展に伴う山の荒廃

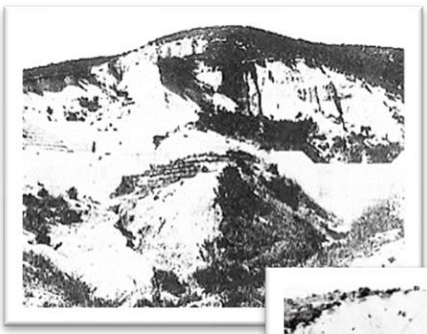
流域には、陶磁器生産に適する瀬戸層群が堆積しており、尾張藩の奨励もあって、江戸時代中頃から、瀬戸・多治見地方は焼き物が盛んとなりました。

周辺の丘陵では陶土の採掘や薪を得るための山林伐採が盛んに行われてきました。このため、大雨が降れば、荒れた丘陵から土砂が流れ出して庄内川支川等の河床を上昇させ、氾濫が繰り返し発生しました。



過去の荒廃状況

庄内川流域は未固結の粘土層や風化しやすい花崗岩が分布していることに加え、複数の断層が存在し、土石流や崩壊が発生しやすい地形・地質構造となっています。このため、地震や降雨により崩壊が生じ、庄内川本川まで多量の土砂が流出する可能性が高い状況にあります。



昭和10年代の
土岐郡笠原町
(平園川上流)



昭和20年代後半
山腹工施工(昭和27～28年)



昭和20年代の
多治見市長瀬町(多治見IC北)



過去の主な災害（庄内川水系）

«庄内川水系»

昭和32年8月　豪雨による災害（多治見市・土岐市）

豪雨により多治見市・土岐市で
多数の山腹・渓岸崩壊が発生
浸水被害も甚大であった

多治見市で
床上・床下浸水5,158戸、
全壊・半壊家屋住家52戸、
土岐市で
床上・床下浸水4,456戸、
全壊・半壊住家69戸



通行止めになった県道



土砂流出により埋まった家屋

平成元年9月　台風22号による災害（多治見市・土岐市）

台風２２号により多治見市・土岐市で
多くの浸水や土砂災害が発生
多治見市で
床上・床下浸水33戸、
土岐市で
床上・床下浸水459戸、全半壊5戸、
崩壊により死者1名



土岐市内の浸水状況



崩壊した斜面（土岐市西山）

平成11年6月　梅雨前線による災害（多治見市・土岐市）



肥田川支渓流から流出した土砂と流木



土岐市内の浸水状況

平成23年9月　台風15号による災害（多治見市・土岐市）

台風１５号により多治見市・土岐市で多くの浸水や土砂災害が発生
床上浸水228戸、床下浸水195戸、
死者2名、行方不明1名



道路を塞ぐ土石流(多治見市)



多治見市平和町

直轄事業化までの経緯（庄内川水系）

【庄内川砂防】

・庄内川流域では、窯業や生活燃料としての薪材の乱伐等により林地が荒廃していました。
・山地から流出した土砂による河床上昇によって、氾濫が誘発されやすい状況にありました。

【江戸時代】

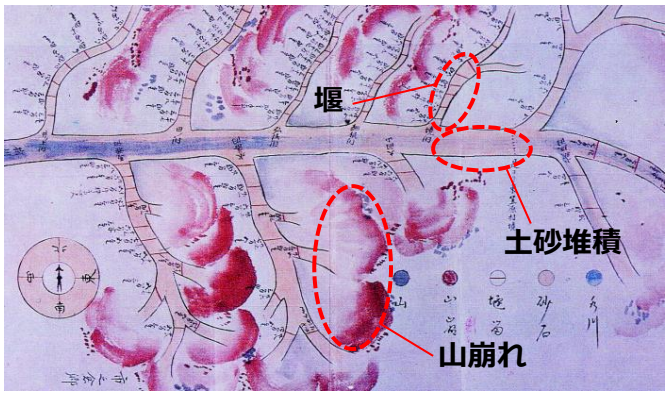
「石砂留普請（いしすなどめふしん）」と呼ばれる
川普請（治山・治水工事）を実施

【明治12年】

ヨハネス・デレーケが、
「庄内川山丘土砂流送の件」を内務省に提出

【大正6年】

愛知県と岐阜県が費用分担し、
庄内川上流（岐阜県）の砂防工事を実施



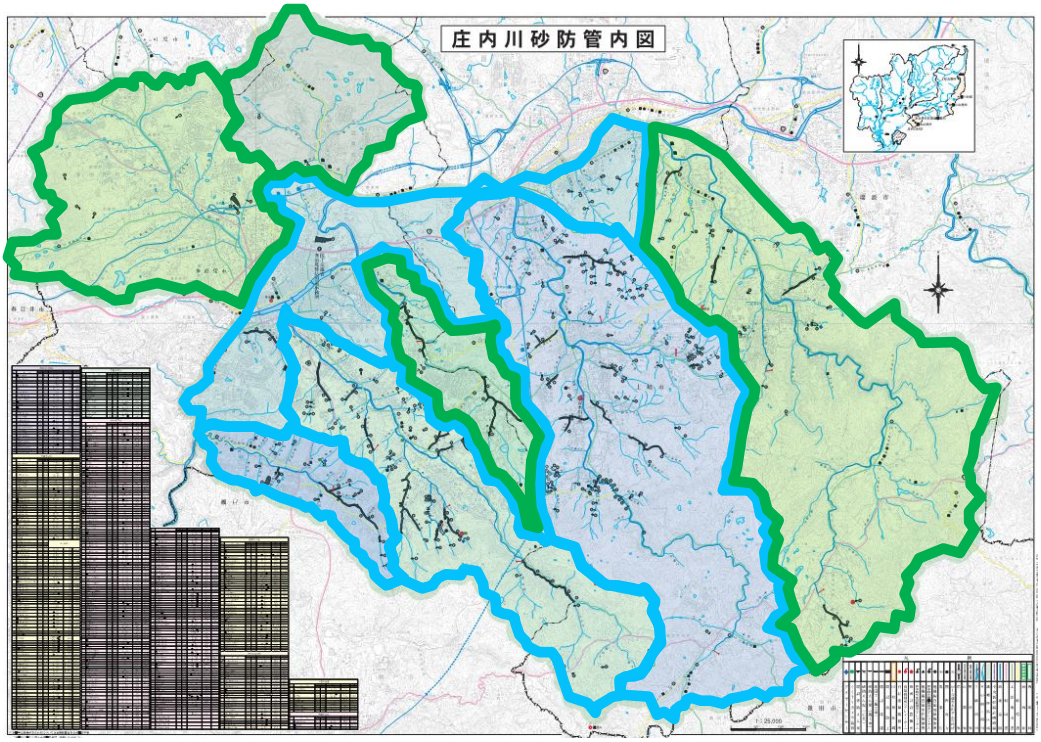
市之倉川とそれに流れ込む支流における普請箇所を示す
「市之倉郷石砂留普請絵図」（多治見市図書館郷土資料室提供に一部加筆）

【昭和12年～16年】

直轄砂防事業を開始
（妻木川・笠原川）
（市之倉川はS14年、土岐川本川残流域はS16年）

【昭和25年～32年】

直轄砂防事業を順次拡大
（肥田川S25年・生田川S26年・大原川S27年
・高田川S32年）



庄内川水系（管内図）

木曽川水系の概要

流域の概要

木曽川は、その源を長野県木曽郡木祖村鉢盛（はちもり）山（標高2,446m）に発し、古来から木材（ヒノキなど木曽五木）の産地として名高い木曽谷を南南西に流下し、岐阜県中津川市に入り、落合川・中津川・阿木川・飛騨川等の諸川を合わせ、愛知県犬山市で濃尾平野に出て南西に流下します。その後、長良川と並流して伊勢湾に注ぐ、流域面積5,275km²、幹川流路延長229kmの一級河川です。

木曽川直轄砂防区域は、長野県の木曽谷から岐阜県中津川市に至る木曽川の左岸側に位置し、南北42km、東西10km超となる流域面積約538km²となります。

もろい地質と急な斜面

東部の駒ヶ岳・空木（うつぎ）岳・摺古木（すりこぎ）山から東南端の恵那山に連なる標高1,500～3,000m級の木曽山脈（中央アルプス）に囲まれた、急峻な山岳地帯です。また、地形が急峻であることに加え、地質的には山岳部の中央が新期花崗岩（領家変成岩）及び石英斑岩から成り、風化が著しく、複数の断層が発達・並走し、崩壊土砂の生産が活発な地域となっています。

急流河川と河岸段丘が連続してつながる地形

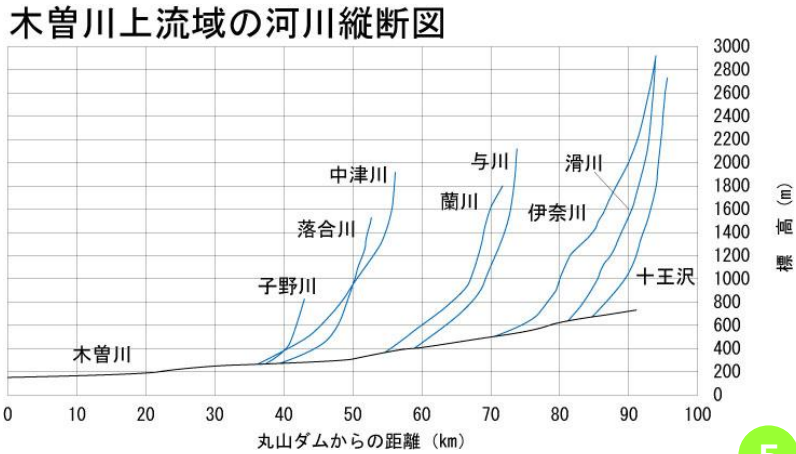
上流部は河岸段丘が連続してつながる地形で、段丘面に人口や資産が集中しています。3,000m級の山々が連なる中央アルプスから流れこむ支川は、木曽川本川よりもさらに急勾配となっているところが多いです。

中央アルプスから流れ出る支川渓流(滑川)

■風化等による花崗岩の変化の様子



木曽川や滑川の河原では、白くて大きな岩をたくさん見ることができます。花崗岩と呼ばれる岩です。花崗岩はとても硬い岩石ですが、水などの作用で風化しやすくなる性質を持っています。

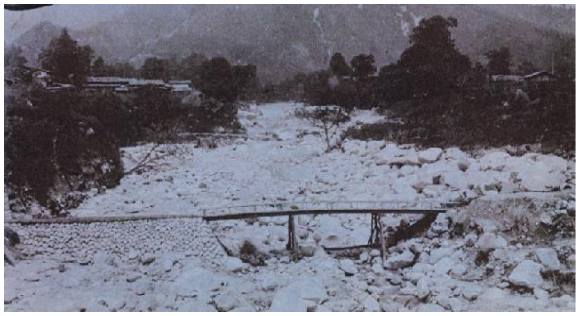


過去の主な災害（木曽川水系）

«木曽川水系»

明治37年7月　［蘭川水害］による災害（南木曽町）

1904（明治37）年7月9日から11日にかけて豪雨のため
蘭川流域の各所で土石流が発生
死者52名
負傷者17名
流出家屋57戸



南木曽町 蘭地区　額付川・旧道

大正12年7月　［蛇抜け］集中豪雨による災害（大桑村）

梅雨末期の集中豪雨が1週間程度続き7月18日に蛇抜けが発生
死者26名、負傷者34名、流出家屋31戸

昭和7年8月　［四ツ目川災害］集中豪雨による災害（中津川市）

集中豪雨により四ッ目川が氾濫
中津川市内
死者2名、負傷者24名、
流出家屋73戸、全半壊住宅297戸、
土石流入家屋212戸、
橋の流失18ヶ所、道路決壊18km



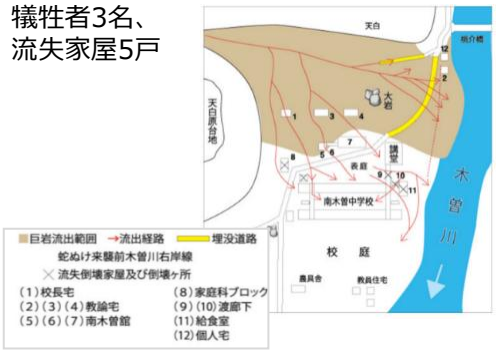
中津川市内の被災状況



中津川市内の被災状況

昭和28年7月　［伊勢小屋蛇ぬけ］土石流による災害（南木曽町）

豪雨により国鉄中央本線が不通となり
落合村が孤立
犠牲者3名、
流失家屋5戸





○碑文解説

白い雨が降るとぬける
　しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる状況になると『蛇ぬけ』が発生する。
尾先　谷口　宮の前
　尾根の先端、谷の出口、お宮の前には家を建てるな。この災害は『谷の出口』で起こっている。
雨に風が加わると危ない
　風によって木の根がゆるみ、流木の発生が促進されることがある。
長雨後　谷の水が急に止まったら　ぬける
　学校へ行く途中、伊勢小屋沢土橋付近の水量は、少ないように思った。
蛇ぬけの水は黒い　蛇ぬけの前はきな臭い匂いがする
　水の色はドス黒く、ドロのような臭いが鼻をついて、なんとも言い表せない恐ろしさを感じた。

出典「『蛇ぬけの碑』の教訓」（平成22年度（社）砂防協会 通常総会並びに研究発表会「長野大会」）を加筆

○「じゃぬけ　伊勢小屋沢その後の45年」を加筆

1953年（昭和28年）7月20日に発生した「蛇ぬけ（土石流）」の犠牲者3名の慰霊と、悲惨な災害を2度と起こさないことを願い、7周年にあたる1960年（昭和35年）に建設されました。

昭和41年6月　［南木曽災害］豪雨による災害（南木曽町）

豪雨により南木曽町を中心に各所で土石流が発生
三留野地区をはじめとして
家屋流出、全壊38戸、半壊111戸、橋梁の流出等



土石流に破壊された家屋



南木曽橋の主桁にせまる濁流

〈出典：「中部の水害」〉

直轄事業化までの経緯（木曽川水系）

【木曽川砂防】

◆木曽川下流域（中津川市）

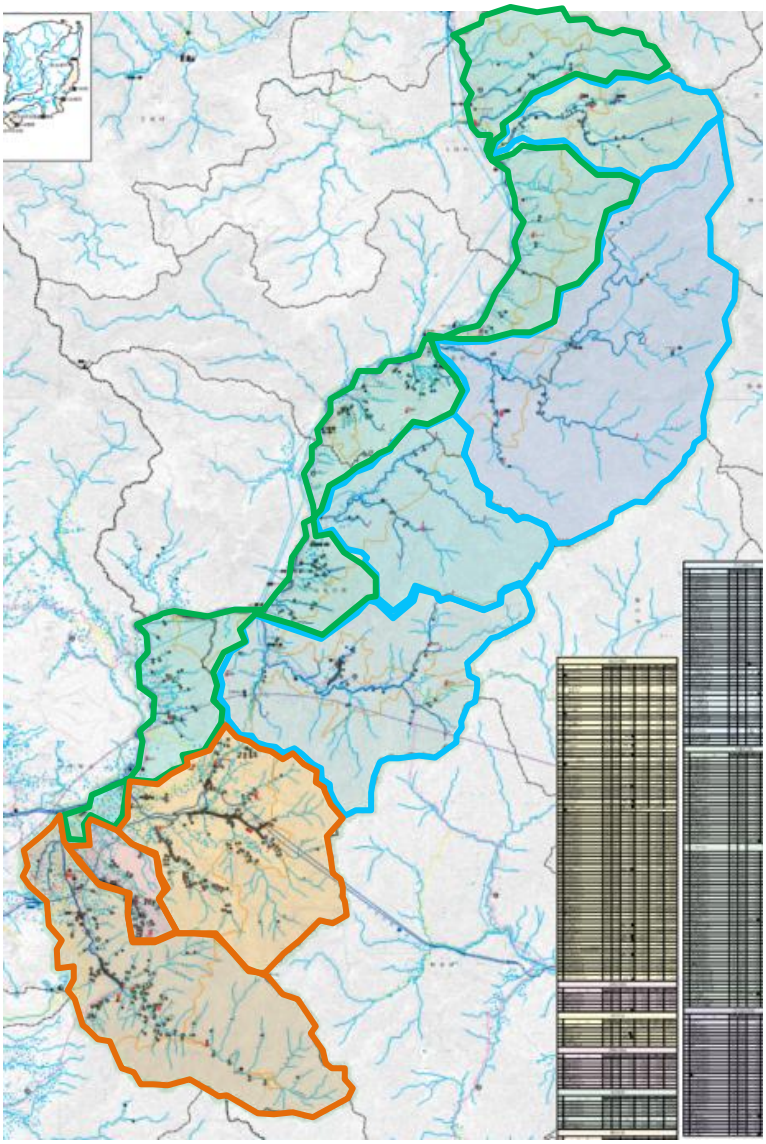
【昭和7年】
四ッ目川災害により中津川市街に
壊滅的な被害



四ッ目川災害(中津川駅構内)

【昭和12年】

直轄砂防事業を開始
中津川、子野川、落合川



木曽川水系（管内図）

◆木曽川上流域（南木曽町～上松町）

【昭和41年】
南木曽町三留野他で土石流による
甚大な被害

【昭和50年】
七夕災害など土砂災害が頻発



南木曽災害(南木曽町内)

【昭和53年】
直轄砂防事業を開始
（滑川、伊奈川、与川、蘭川）

【平成元年】
直轄砂防事業を拡大
（残流域）

近年の災害（梨子沢土石流）

平成26年7月9日　長野県南木曽町で発生した土石流災害

平成26年7月9日に、長野県木曽郡南木曽町を流れる梨子沢において大規模な土石流が発生し、死者１名・軽傷３名、住宅全壊10棟・一部損壊３棟などの甚大な被害が生じました。
また、JR中央本線では橋梁が流出し、国道19号には大量の土砂が流出するなど、交通機関にも大きな影響を与えました。



災害復旧状況

梨子沢の災害復旧工事には、国土交通省、林野庁中部森林管理局、長野県、南木曽町が連携して取り組みました。



＜ 梨子沢第1砂防堰堤 ＞



＜ 梨子沢第2砂防堰堤 ＞





災害後に、緊急的に除石を実施しました。

＜ 梨子沢第3砂防堰堤 ＞





＜ 梨子沢第4砂防堰堤 ＞



近年の災害（御嶽山噴火災害）

平成26年9月27日　御嶽山で発生した火山噴火災害

平成26年9月27日に、岐阜県と長野県をまたぐ御嶽山において火山噴火災害が発生しました。
災害発生直後より、土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手し、二次災害防止等の対策として監視カメラ、ワイヤーセンサー、ブロック積み砂防堰堤等を設置しました。



噴火直後の上空からの様子

ワイヤーセンサーの設置状況



ブロック積み砂防堰堤設置の状況



シミュレーションの実施状況



土砂流出による影響範囲のシミュレーション結果



監視カメラの設置状況



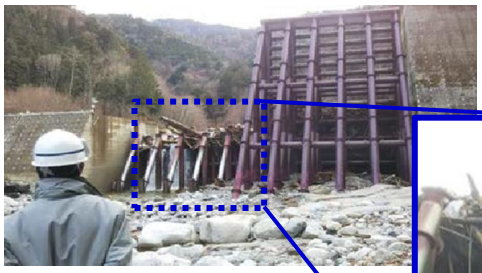


緊急調査（降灰状況調査）の実施

主な効果事例

越百川第3砂防堰堤（土砂等の捕捉）







平成30年８～９月の大雨により土石流が発生し、整備途中ではあったものの土砂・流木を捕捉し被害を防止

捕捉土砂量：約20,000m3
総雨量：①136mm
（8月15日22時～8月16日21時）
②99mm
（9月4日7時～9月5日11時）
時間最大雨量：①35mm（8月16日16時～17時）
②23mm（9月4日17時～18時）

滑川第1砂防堰堤（除石）

令和3年8月の大雨により土砂移動が発生し、事前防災の除石効果により土砂等を捕捉し被害を防止
捕捉土砂量：約90,000m3
連続雨量：347mm（発生まで）（8月12日14時～8月14日22時）
時間最大雨量：43mm（8月14日21時～22時）

滑川第一砂防堰堤　主な既往土砂捕捉実績（直近）				
年	H16	H22	R2	R3
捕捉量（m3）	80,000	64,000	50,000	90,000







本谷第1砂防堰堤

令和3年8月の大雨により土砂移動が発生。
既設と改築中の砂防堰堤が土砂を捕捉し、下流への被害を未然に防止。





地獄谷第４砂防堰堤

令和3年8月の大雨により土砂移動が発生。
透過型砂防堰堤が、土砂と流木を捕捉し下流地区の被害を未然に防止。





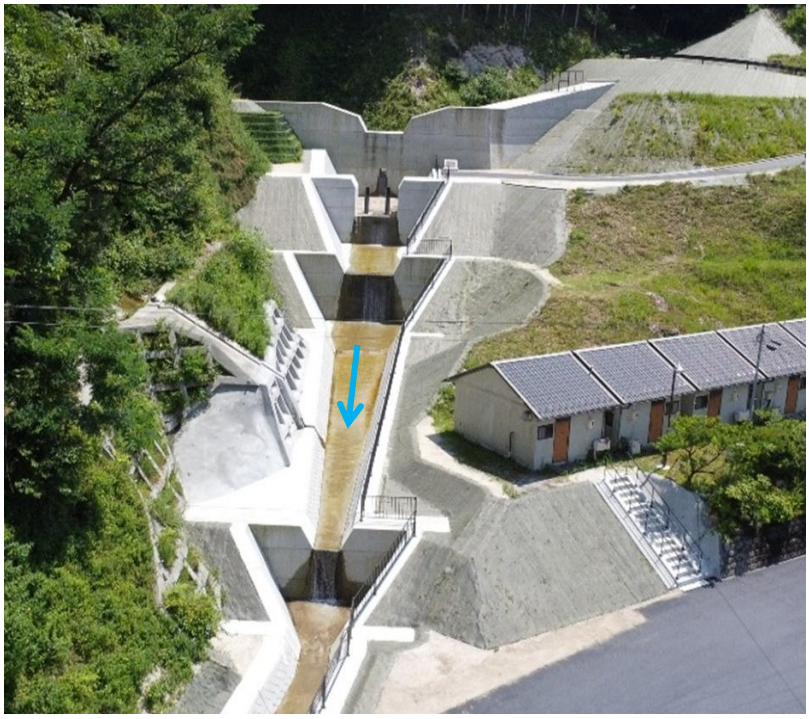




近年の施工状況

アラクラ沢砂防堰堤（中津川市）

木曽川流域のアラクラ沢では、平成28年9月の豪雨により大規模な土砂流出が発生し、商業施設2施設が被災しました。これを受け、多治見砂防国道事務所では再度災害の防止を目的に、令和2年度より砂防堰堤の整備に着手いたしました。
令和2年9月29日の着工以来、順調に工事を進め、令和7年7月31日に工事が完了しました。



アラクラ沢砂防堰堤（堤長：58.5m、堤高6.5m）



土石流発生状況（下流から）【平成28年9月23日】



土石流発生状況（上流から）【平成28年9月23日】

星ヶ台砂防堰堤（多治見市）

星ヶ台堰堤は、令和８年３月１６日に告示された「無流水渓流対策に係る技術的留意事項」に基づき、「無流水渓流対策施設」として全国で初めて施工された施設（モデルケース）で、令和7年に着工・完成しました。
本現場は住宅密集地に隣接しており、従来の大型堰堤では工事用道路の確保が難しく、工期が長期化する課題があったため、小規模な渓流特性に合わせ、左右の支渓に「土石流フェンス」を設置することで、施工機械の小型化、工事車両や施工日数の縮減を行い、土砂災害に強いまちづくりを実現しました。



星ヶ台砂防堰堤堰（堤長：第1:15.6m、 第2:18.2m
堤高：第1: 4.0m、 第2: 5.3m）



下流の状況

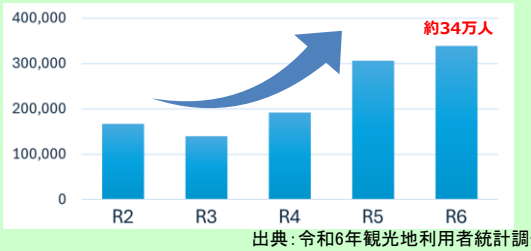
地域のなりわいを守る砂防事業
（地蔵沢第１砂防堰堤（長野県南木曽町　妻籠宿））

長野県南木曽町の妻籠宿は、日本三大宿場町の一つに数えられ多くの観光客が訪れる観光資源である一方、土砂災害のリスクを抱えています。砂防堰堤の整備を推進し、地域のなりわいを支える歴史的資産である宿場町と重要路線である国道256号線を守ります。



■歴史的・文化的価値と観光産業の保全

多くの観光客が訪れる人気観光地である妻籠宿は、コロナ禍後、観光客数は右肩上がりの回復を記録し、インバウンドが急増。



出典：令和6年観光地利用者統計調査結果

■インバウンド効果もあり
活気付く宿場町の街並み





出展：南木曽観光協会

DXの取り組み
UAV（無人航空機）自立飛行による渓流点検の効率化

土砂災害発生時には土砂や流木による被災状況を早期に把握する必要がありますが、迅速な調査着手及び調査時における安全確保が課題となっています。

この課題解消のため、ＵＡＶ（垂直離着陸型固定翼ドローン）での長時間・長距離の自立飛行による、土砂災害時の点検を想定した実証試験（レベル３．５飛行）を行いました。

実証試験では、迅速な調査及び安全確保が可能と分かり、有用な調査結果を得ることができましたので、今後の点検業務の効率化が期待されます。

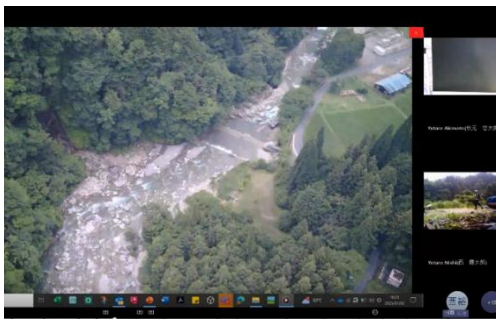
※レベル３．５飛行とは、従来補助者を配置し対応していた安全確保を，ドローンの機上カメラにより代替する飛行です



（垂直離着陸型固定翼ドローン）



ＵＡＶ飛行準備状況



Ｗｅｂ会議ツールによる映像配信



事務所でのリアルタイム映像確認

土砂災害の監視体制の整備

CCTVカメラによる映像の配信　（多治見砂防国道事務所ホームページ）

洪水時等における土砂の流出状況や砂防堰堤の施設状況把握などのため、監視カメラの映像を事務所ホームページで配信しています。

木曽川砂防･庄内川砂防カメラ　https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/desk/sabou_live.html



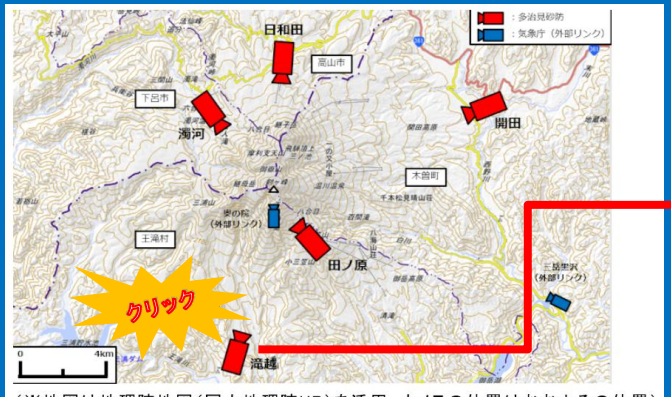




長野県南木曽町梨子沢で発生した土石流の状況（CCTVカメラがとらえた映像）
https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/sabo/mov/camera_rec.html



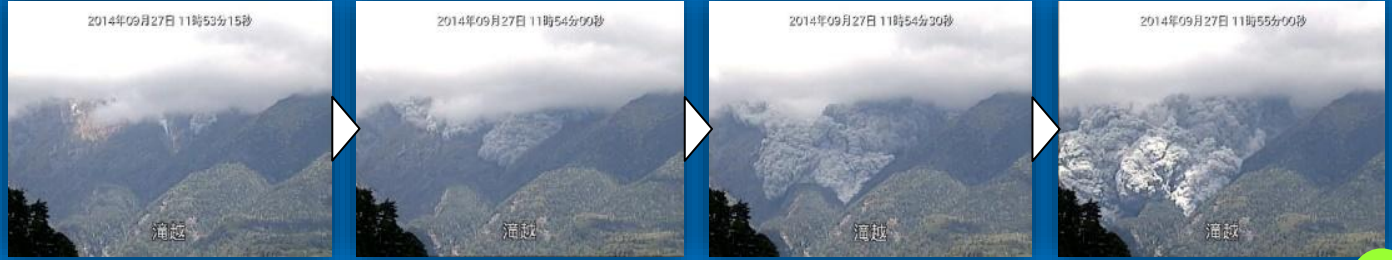
御嶽山カメラ　https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/sabo/ontake/



（※地図は地理院地図（国土地理院HP）を活用、カメラの位置はおおよその位置）



御嶽山の噴火状況（CCTVカメラがとらえた映像）



減災対策の取組（１）

市町村・県と連携した合同防災訓練の実施

合同防災訓練は、大規模土砂災害発生時の関係機関の災害対応能力の向上や連携強化を目的とした訓練で、平成１８年度より管内の６市町村（土岐市、上松町、南木曽町、大桑村、多治見市、中津川市）にて順次実施しています。



<令和7年度　大規模土砂災害合同防災訓練>

令和７年６月５日に南木曽町を対象として開催しました。



各機関が災害時の対応について議論





関係機関の連携内容等を協議

■訓練概要

関係機関の対応の「見える化」と連携強化を目的に、今年度は長野県南木曽町にて同時多発的な土石流等を想定した訓練を実施しました。当日は参加者28名、見学者27名が集まり、「降雨終了直後」や「二次災害の恐れ判明時」の対応に焦点を当てて検証を行いました。各機関の役割を相互に確認し、顔の見える関係を深めることで、地域全体の災害対応能力の向上を図りました。

令和６年度　多治見砂防国道事務所災害協定の締結

砂防事業（御嶽山を含む）管内において災害が発生した場合に、被害の拡大防止や被災施設の早期復旧を図るために実施する応急対策業務に関する協定（３ヵ年）を、令和６年４月１日に土木関係建設コンサルタント等の１０者と締結しました。

■協定の業務内容

土石流等の氾濫シミュレーション、ＵＡＶによる公共測量、土石流等の監視、緊急応急対策検討等

■協定の区域

多治見砂防国道事務所砂防事業（御嶽山を含む）管内

【協定の区域】





土石流監視の検討



UAVによる測量・変状計測

業務内容イメージ

御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画の概要

１．御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画

御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画は、御嶽山の噴火に伴って起きる土砂移動（土砂災害）による被害をできる限り軽減（減災）することを目的として、平成23年（2011年）7月に策定運用してきたが、平成26年（2014年）9月の噴火後に実施した緊急減災対策を踏まえて抽出・整理した課題への対応策や、計画の実効性向上に向けた取り組みの記載など、砂防計画全体を見直し策定した。

２．対象とする土砂移動現象

緊急ハード対策で対象とする現象は、降灰後土石流、融雪型火山泥流とする

降灰後土石流

火山灰等が堆積した斜面への降雨で発生する現象。少量の降雨でも起こり、噴火終了後も数年間、継続して発生することがある。



雲仙普賢岳1991年噴火後に発生した土石流（撮影：国土交通省）

・想定噴火：水蒸気噴火（10万㎥DRE）
・降　　雨：2年超過確率規模（緊急ハード）、100年超過確率規模（緊急ソフト）
・対策対象：降灰堆積厚が5cm以上となる土石流危険渓流のうち、保全対象が被災する可能性のある渓流（5箇所）

融雪型火山泥流

噴火による高温の噴出物が、火口付近の積雪を急速に解かし、それによって発生した大量の水が周辺の土砂をまき込みながら流下する現象。



1926 年十勝岳噴火に伴った融雪型火山泥流の跡
（出典：上富良野町郷土館 大正15年十勝岳大爆発記録写真集、1980）

・想定噴火：マグマ噴火(1000万㎥DRE)
・誘因現象：中規模火砕流（温度800度）
・積　　雪：年間最大積雪量の平均値
(火口付近で165cm,密度0.4g/cm3)
・対策対象：上記火砕流の流下が想定される11方向で想定し、保全対象が被災する可能性ある箇所（14箇所）

３．緊急対策の考え方

- 噴火に伴う土砂移動現象（土砂災害）から、住民や観光客の避難路を保全し、生命・財産の被害をできる限り軽減（減災）することを基本方針とする。
- 緊急対策は、噴火等が発生している非常時対応と火山活動が平穏な平常時対応との組み合わせである。
- 緊急対策は限られた時間、資機材による対策であり、対応可能な現象・規模には限界があることに留意する。
- 限られた時間と資機材を有効利用するため、緊急ハード・ソフト対策を組み合わせて柔軟に対応する。
- 緊急時の対応の実効性向上に向けて、平常時からの準備（資機材の備蓄、情報 伝達・共有手段の確認、訓練など）を実施する。

４．緊急ハード対策

- 噴火に伴い発生する土砂移動（土砂災害）に対して、効果を最大限発揮できる箇所で実施する。
- 対策工法として、コンクリートブロック積み砂防堰堤、護岸の嵩上げ等、保全対象上流側に既設砂防堰堤がある場合は除石などを実施する。
- 対策実施に際しては、無人化施工も視野に入れて検討する。

H26噴火時の対応事例



コンクリートブロック積み砂防堰堤
（鹿ノ瀬川、国土交通省中部地方整備局）



大型土のうによる護岸の嵩上げ
（鈴ヶ沢、長野県）



砂防堰堤の除石
（湯川、長野県）

５．緊急ソフト対策、以下の対策を実施する。

- 火山活動が活発化した際に現状を把握するため、緊急調査を実施する。
- 噴火時の状況把握や関係機関や住民等への情報提供などを行い、火山活動の推移に応じて、以下の対策を実施する。
  - 監視・観測機器の緊急的な設置
  - リアルタイムアナリシス型およびプレアナリシス型リアルタイムハザードマップ等による氾濫範囲の想定
  - 緊急ハード対策施工時 の安全管理



御嶽山における緊急ソフト対策イメージ



H26噴火時の対応事例

６．実効性向上に向けた取り組み

- 緊急ハード・ソフト対策を迅速かつ効率的に実施するため、平常時から準備を行う。 ⟶
  - 緊急ハード・ソフト対策図面の作成
  - 必要資機材の把握と備蓄
  - 工事用道路の整備
  - 関係機関との調整（許認可）
  - 対策箇所の用地確保と砂防指定地化
  - コンクリートブロックの作成と備蓄
  - 対策箇所の地権者確認と使用許諾
- 関係機関での役割分担を確認しつつ、継続的な連携・情報共有が必要である。
- 関係機関参加による、噴火を想定した防災演習を実施する。
- 住民等への防災教育や広報活動等を通して御嶽山や土砂防災の理解を広める。
- 最新の対策工法や監視観測技術等を活用し、技術開発の推進を図る。

防災活動（防災TEC・防災訓練）への取組

令和６年１月 能登半島地震に伴う被害状況調査を支援

国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」は、大規模な自然災 害時に、被害状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧など に取り組み、地方公共団体を支援するもの

■TEC-FORCE砂防班１班４名の派遣

令和６年１月の能登半島地震による被災状況調査のため、 多治見砂防国道事務所は職員４名を TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）として、令和６年1月３日～６日まで、石川県輪島市に派遣しました。



石川県庁での合同会議



急傾斜地の被災状況調査



地元の方への被害状況聞き取り



ＵＡＶによる被害状況調査

令和６年８月 東北地方の豪雨に伴う被害状況調査を支援

■TEC-FORCE砂防班１班２名の派遣

令和６年７月２５日からの大雨による被災状況調査のため、 多治見砂防国道事務所は職員２名（＋越美砂防事務所 ２名）を TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）として、令和６年８月３日～１０日まで、山形県庄内町に派遣しました。



ＵＡＶによる被害状況調査



急傾斜地の被災状況調査

地域と協働した取組

グリーンベルト事業、里山砂防事業

多治見市、土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、行政（市・県・国）と地域（住民・中学生）が連携して保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

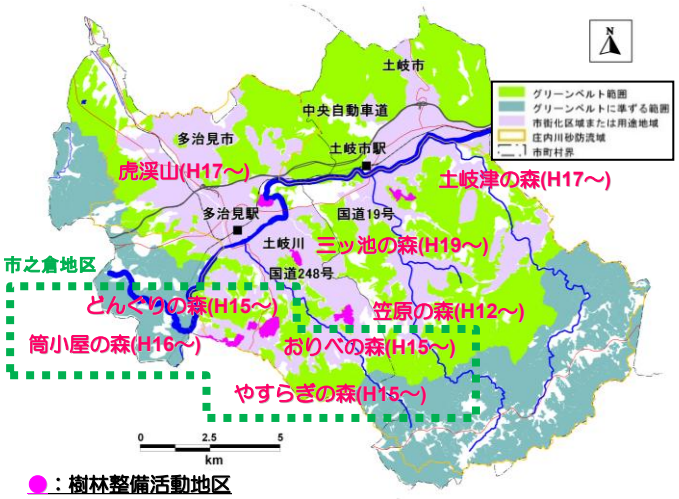
＜ 基 本 理 念 ＞

土岐川流域グリーンベルト整備事業は、互いの連携・協力のもと、はげ山から再生した丘陵を、より安全で豊かな都市山麓につくりあげていくものである。

＜ 基 本 方 針 ＞

- 山麓斜面を防災的に強い樹林地とし、土砂災害を防止する
- 土砂災害の恐れのある地域に対し、適正な土地利用に誘導する
- 防災機能が高く、種の多様性に富む樹林地を保全・創出する
- 生活に憩いをもたらす自然景観を保全する
- 身近な自然体験（環境学習や森林レクリエーション）の場を提供する

■樹林整備活動（里山砂防）地区



■目指す樹林の姿



○マツ枯れによるアカマツの立枯れ･折損･倒木
○常緑広葉樹の低木・亜高木林の繁茂
・切る木
ヒサカキ・ソヨゴなどの常緑樹、樹種を問わず株立ちしている木で、細い木、枯れている木
・残す木
ツツジ・コナラ等の落葉樹、樹種を問わず太くて丈夫な木など



目標樹林（落葉広葉樹林）
様々な木や下草が“バランスよく生育する森”へ

■地域協働によるグリーンベルト事業と里山砂防事業



作業道のルート図


地域共働による
身近な自然体験の場の提供


市民による樹林整備活動



手づくり郷土賞 授与式

■中学校と連携した活動状況（例年実施している主な活動）


室内学習「砂防・森のはなし」


樹林地での観察


森の木の観察

小学生等を対象とした防災教育の取組・広報活動（１）

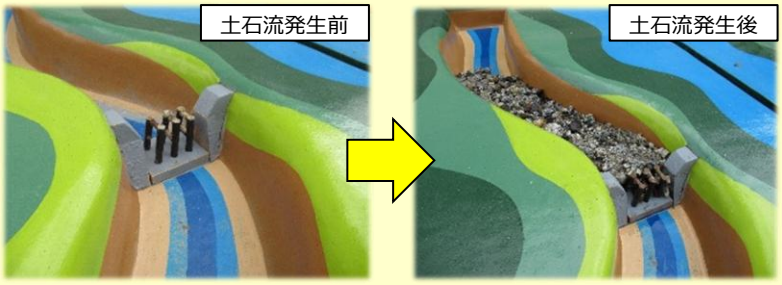
砂防教室・あおぞら教室

毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、管内の小学生（主に4年生）を対象として、土砂災害をはじめとした防災を学ぶ場「砂防教室・あおぞら教室」を開催しています。


ハザードマップを使用した学習


四ツ目遊砂工の見学


本物の水と土砂で土石流模型実験を体験



砂防堰堤が土石流を止めている状況が一目瞭然！

X（旧Twitter）による情報発信

砂防事業の魅力を広く知ってもらうため、SNSを活用した情報発信を行っています。

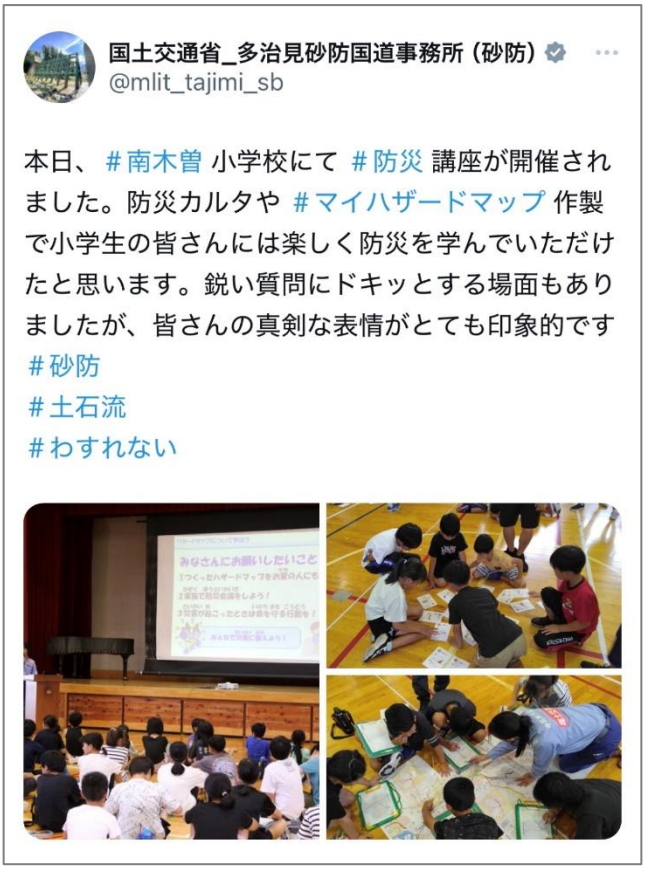


事務所公式アカウント
ぜひフォローください！

国土交通省_多治見砂防国道事務所（砂防）
(@milt_tajimi_sb)/X
Mobile.X.com







小学生等を対象とした防災教育の取組・広報活動（２）

SABOカード

『SABOカード』とは砂防施設の魅力を情報発信するために配布する広報用のカード型パンフレットです。
木曽川・庄内川流域の砂防事業が国の直轄事業になって８０年を迎えるにあたり、砂防施設に関心を持って頂き、砂防事業に、より理解を深めて頂くことを目的として中部地方整備局管内では初めて『SABOカード』を製作しました。イベントでの配布のほか、事務所、出張所、砂防施設近隣の公共施設等にて配布しています。

◇【第３弾】令和３年４月発表



越百川第３砂防堰堤
（長野県木曽郡大桑村）



額付第１砂防堰堤
（長野県木曽郡南木曽町）



穴ヶ沢第１砂防堰堤
（岐阜県中津川市恵下）



市之倉里山砂防事業
（岐阜県多治見市市之倉町）

◇【第2弾】平成30年4月発表



滑川第１砂防堰堤
（長野県木曽郡上松町）



越百川第３砂防堰堤
（長野県木曽郡大桑村）



梨子沢第２砂防堰堤
（長野県木曽郡南木曽町）

【第４弾】令和8年2月発表



星ヶ台第１・第２砂防堰堤
（岐阜県治見市星ケ台）

砂防副読本

「砂防副読本」は、児童を対象として地域の防災力の向上を図ることを目的に、土砂災害のメカニズムや砂防堰堤の役割をまとめたものです。中津川市内の各小学校の図書室にも配架されており、タブレット等による閲覧も可能です。









貴重な資料は、地元の皆様に提供していただきました。



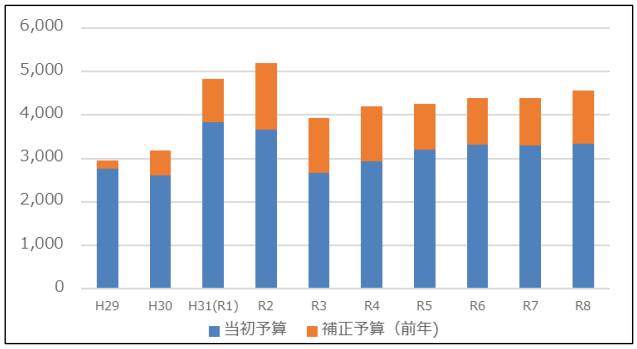
QRコードを利用して、動画を閲覧できます。机上の学習にも極力実感が伴うよう工夫しています。

令和８年度の直轄砂防事業（１）

直轄砂防事業費　（単位：百万円）

流域名	R6補正	R7当初	R7補正	R8当初	R8/R7 当初比	(R7補正+R8当初) /R7当初比	(R7補正+R8当初)/ (R6補正+R7当初)比
木曽川水系	1,030	2,755	1,090	2,780	1.01	1.40	1.02
庄内川水系	70	540	140	548	1.01	1.27	1.13
合　計	1,100	3,295	1,230	3,328	1.01	1.38	1.04

直轄砂防事業費　予算推移

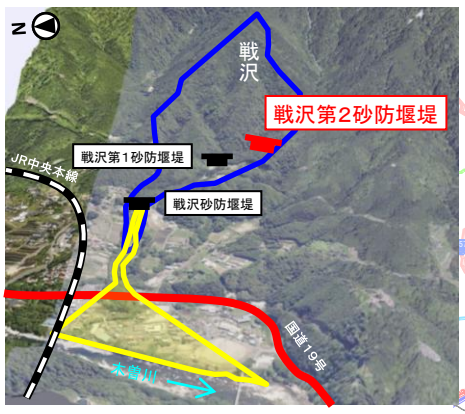




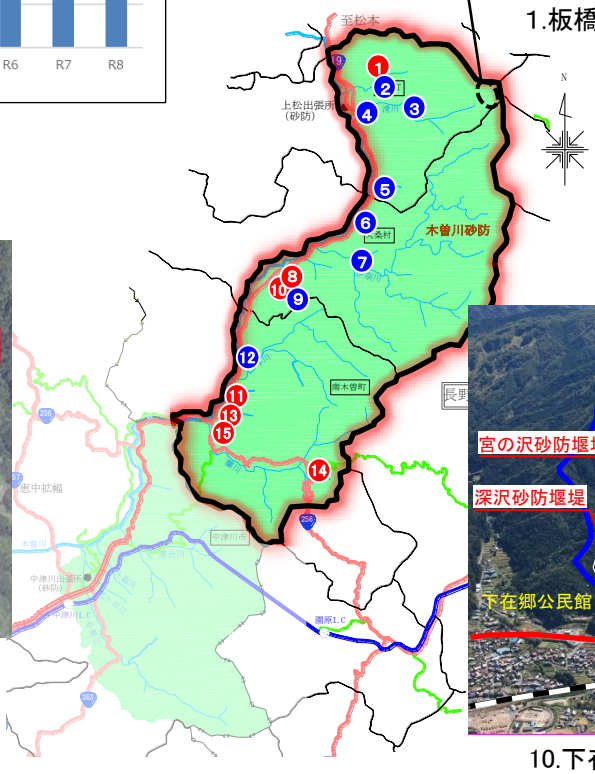
滑川上流の崩壊状況



1.板橋沢第１砂防堰堤（上松町）



13.戦沢第２砂防堰堤（南木曽町）



凡　例

●	工事中	●	計画・調整



10.下在砂防堰堤工群（大桑村）

木曽川砂防（長野県）の事業個所

（単位：百万円）

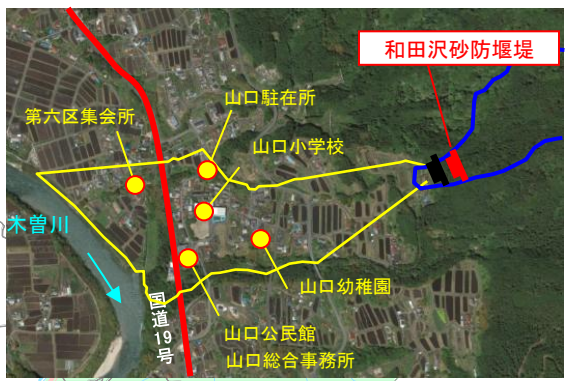
事業区分	水　系	河川名	渓流名	箇所名	所在地 市・郡	所在地 区・町・村	所在地 字名等	工　種	R7補正	R8当初	計	備考
砂防												
木曽川水系（長野県）												
1	木曽川	木曽川	板橋沢	いたはしざわだいいちさぼうえんてい 板橋沢第１砂防堰堤	木曽郡	上松町	小川	砂防堰堤工	－	222	222	
2	木曽川	木曽川	十王沢	じゅうおうざわだいさんさぼうえんてい 十王沢第３砂防堰堤	木曽郡	上松町	小川	砂防堰堤工	－	22	22	
3	木曽川	滑川	滑川	なめかわゆうさこう 滑川遊砂工	木曽郡	上松町	小川	遊砂地工	－	37	37	
4	木曽川	滑川	滑川	なめかわかりゅう とこがため こうぐん 滑川下流床固工群	木曽郡	上松町	荻原	床固工	－	32	32	
5	木曽川	木曽川	大沢	おおさわだいいちさぼうえんてい 大沢第１砂防堰堤	木曽郡	上松町	荻原	砂防堰堤工	－	32	32	
6	木曽川	木曽川	猿沢	さるさわだいいちさぼうえんてい 猿沢第１砂防堰堤	木曽郡	大桑村	上郷	砂防堰堤工	－	36	36	
7	木曽川	伊奈川	矢垂沢	やたれさわさぼうえんてい 矢垂沢砂防堰堤	木曽郡	大桑村	長野	砂防堰堤工	－	32	32	
8	木曽川	木曽川	太田	おおただいいちさぼうえんてい 太田第１砂防堰堤	木曽郡	大桑村	野尻	砂防堰堤工	－	222	222	
9	木曽川	木曽川	二反田川	にたんだがわだいに さぼうえんてい 二反田川第２砂防堰堤	木曽郡	大桑村	野尻	砂防堰堤工	－	34	34	
10	木曽川	木曽川	深沢、宮ノ沢 蛇抜沢、中河原沢	しもざいさぼうえんてい こうぐん 下在砂防堰堤工群	木曽郡	大桑村	野尻	砂防堰堤工	150	27	177	
11	木曽川	木曽川	蛇抜沢	わごうじゃぬけざわちんさこう 和合蛇抜沢沈砂地工	木曽郡	南木曽町	和合	遊砂地工	150	81	231	
12	木曽川	与川	与川	よがわだいいちさぼうえんてい 与川第１砂防堰堤	木曽郡	南木曽町	読書	砂防堰堤工	－	31	31	
13	木曽川	蘭川残	戦沢	せんさわだいにさぼうえんてい 戦沢第２砂防堰堤	木曽郡	南木曽町	吾妻	砂防堰堤工	－	201	201	
14	木曽川	蘭川	桂川	かつらがわだいいちさぼうえんてい 桂川第１砂防堰堤	木曽郡	南木曽町	広瀬	砂防堰堤工	120	81	201	
15	木曽川	蘭川	地蔵沢	じぞうさわだいいちさぼうえんてい 地蔵沢第１砂防堰堤	木曽郡	南木曽町	吾妻	砂防堰堤工	150	81	231	
16	木曽川			あげまつかんないさぼうしせつかいちく 上松管内砂防施設改築	木曽郡	上松町、大桑村、南木曽町		砂防堰堤工	－	457	457	
									570	1,628	2,198	

令和８年度の直轄砂防事業（２）

木曽川砂防（岐阜県）の事業個所

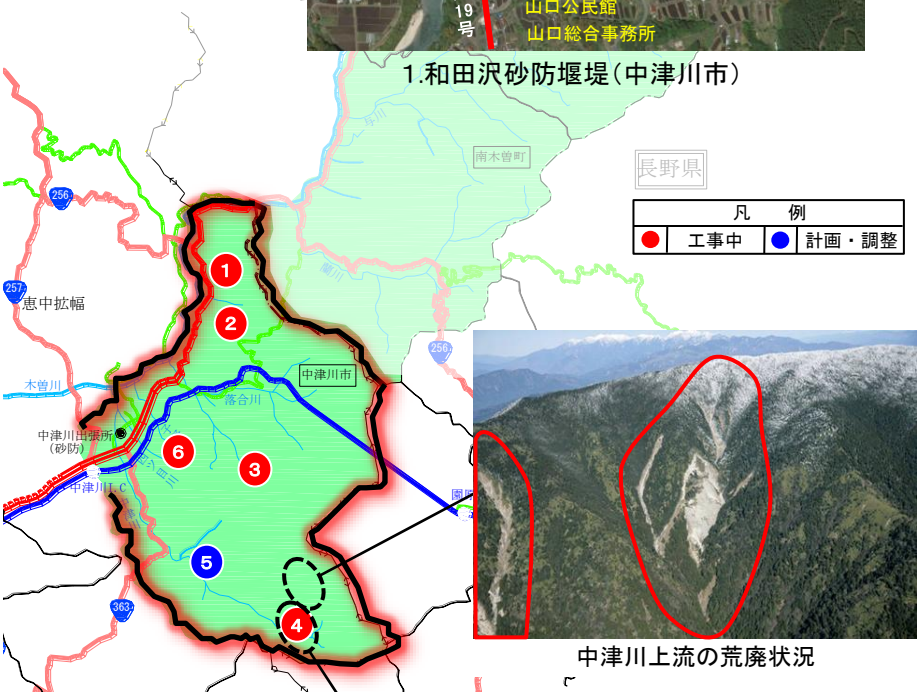
（単位：百万円）

事業区分	水系	河川名	渓流名	箇所名	所在地			工種	R7補正	R8当初	計	備考
					市・郡	区・町・村	字名等					
砂防												
木曽川水系（岐阜県）												
1	木曽川	木曽川	和田沢	和田沢砂防堰堤	中津川市		山口	砂防堰堤工	－	171	171	
2	木曽川	木曽川	新梨沢	新梨沢砂防堰堤	中津川市		山口	砂防堰堤工	180	－	180	
3	木曽川	落合川	落合本谷	本谷砂防堰堤改築	中津川市		落合	砂防堰堤工	170	103	273	
4	木曽川	中津川	中津川	中津川第１２砂防堰堤	中津川市		中津川	砂防堰堤工	－	188	188	
5	木曽川	中津川	弥太洞	弥太洞第３砂防堰堤	中津川市		川上	砂防堰堤工	－	41	41	
6	木曽川	子野川		子野川第３砂防堰堤	中津川市			砂防堰堤工	－	171	171	
7	木曽川			中津川管内砂防施設改築	中津川市			砂防堰堤工	170	478	648	
									520	1,152	1,672	



1.和田沢砂防堰堤（中津川市）





中津川上流の荒廃状況



2.新梨沢砂防堰堤（中津川市）



平成12年9月の恵南豪雨時の
流木による被災状況（中津川支川一ノ沢）

令和８年度の直轄砂防事業（３）

庄内川砂防（岐阜県）の事業個所

（単位：百万円）

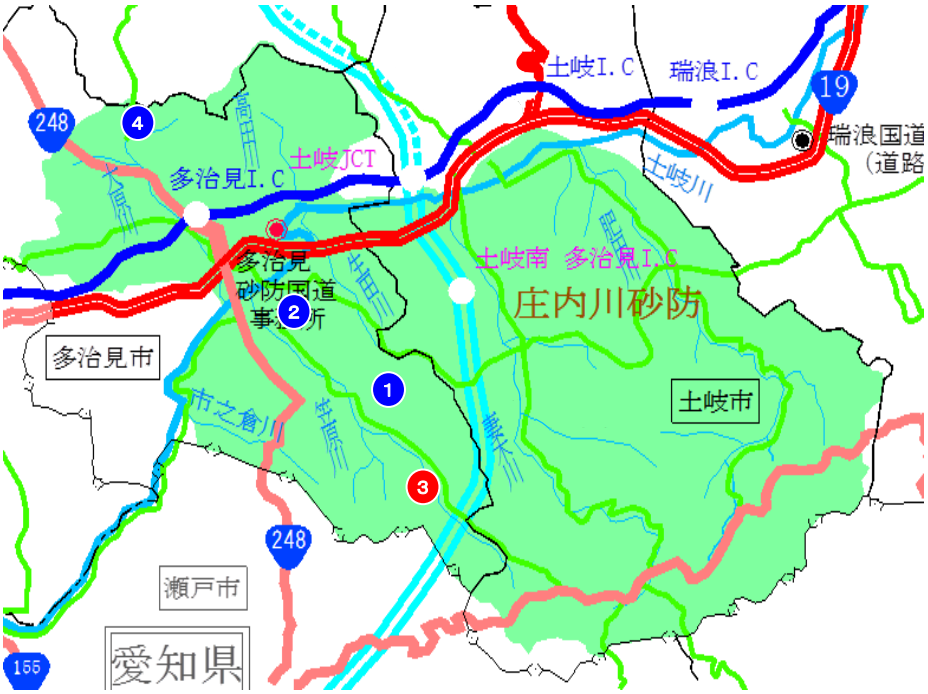
事業区分	水系	河川名	渓流名	箇所名	所在地			工種	R7補正	R8当初	計	備考
					市・郡	区・町・村	字名等					
砂防												
庄内川水系												
1	庄内川	笠原川		厩ヶ洞砂防堰堤工群（まやがほらさぼうえんていこうぐん）	多治見市	笠原町		砂防堰堤工	－	43	43	
2	庄内川	笠原川	深田洞	深田洞砂防堰堤（ふかだほらさぼうえんてい）	多治見市	大畑町		砂防堰堤工	－	31	31	
3	庄内川	庄内川		富士下砂防堰堤工群（ふじしたさぼうえんていこうぐん）	多治見市			砂防堰堤工	－	139	139	
4	庄内川	大原川	松坂町1･3	松坂堰堤工群（まつさかえんていこうぐん）	多治見市	松坂町		砂防堰堤工	－	31	31	
5	庄内川			妻木管内砂防施設改築（つまぎかんないさぼうしせつかいちく）	多治見市、土岐市			砂防堰堤工	140	304	444	
									140	548	688	



3.富士下砂防堰堤工群（多治見市）



2.深田洞砂防堰堤（多治見市）



凡例	
● 工事中	● 計画・調整



庄内川水系砂防



星ケ台第１・第２砂防堰堤
［多治見市］



雲五川床固工群（流路工）［土岐市］

事務所ホームページはこちら！
https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/

事務所X（旧Twitter）はこちら！
https://x.com/mlit_tajimi_sb

多治見砂防国道事務所

〒507-0023　岐阜県多治見市小田町4-8-6

□事務所代表　TEL：0572-25-8020　FAX：0572-25-7994

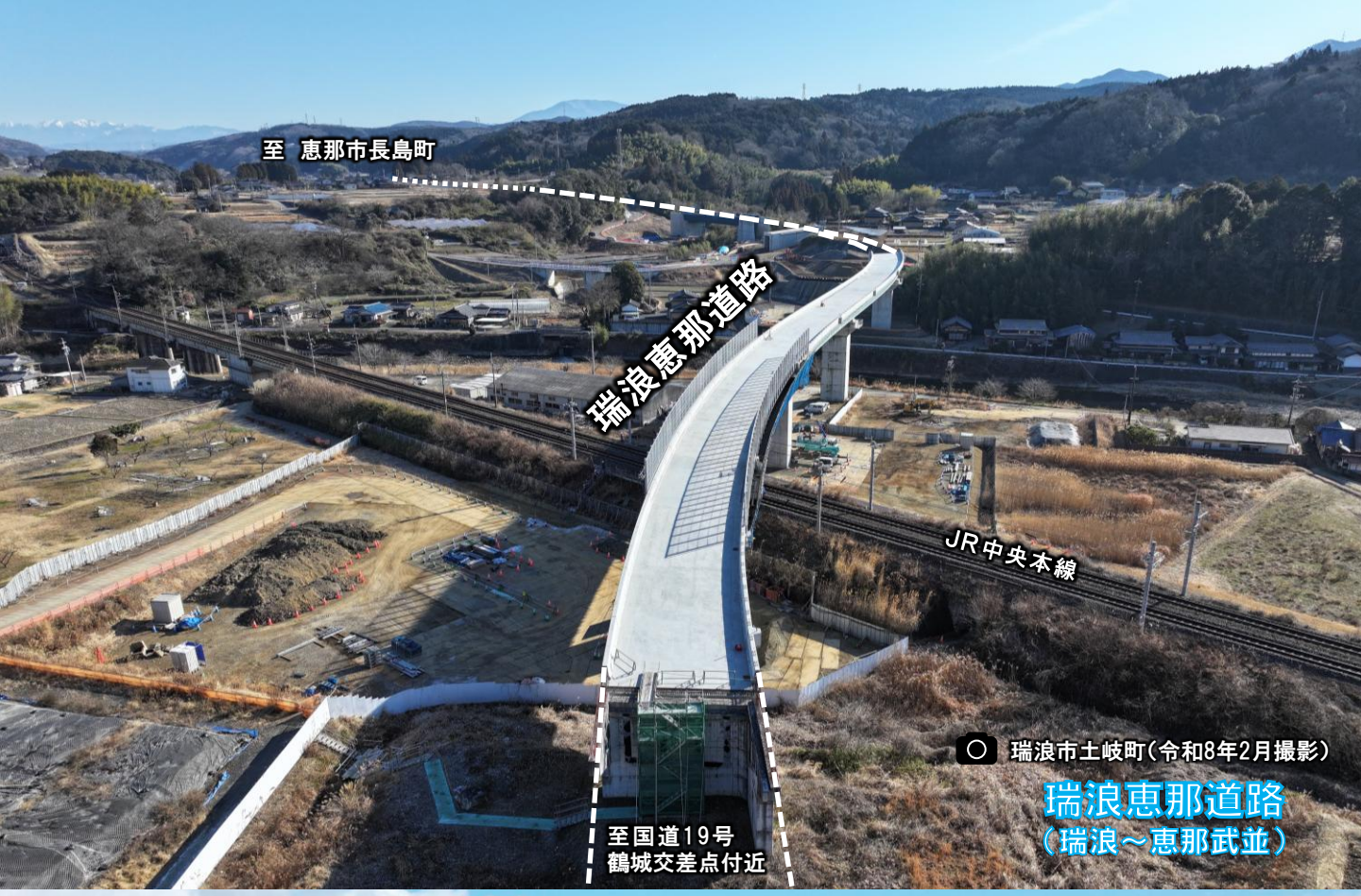
□用地第一課　TEL：0572-25-8022　FAX：0572-25-7994

□工務第一課　TEL：0572-25-8023　FAX：0572-25-1038

□砂防調査課　TEL：0572-25-8024　FAX：0572-25-1038

□上松出張所　〒399-5605　長野県木曽郡上松町栄町2-9
TEL：0264-52-4863　FAX：0264-52-2734

□中津川出張所　〒508-0045　中津川市かやの木町4-1
TEL：0573-66-1353　FAX：0573-65-3003



瑞浪市土岐町（令和8年2月撮影）

瑞浪恵那道路
（瑞浪～恵那武並）



恵那市武並町（令和8月2月撮影）

瑞浪恵那道路
（恵那工区）

令和8年度
【道路事業概要】

国土交通省　中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

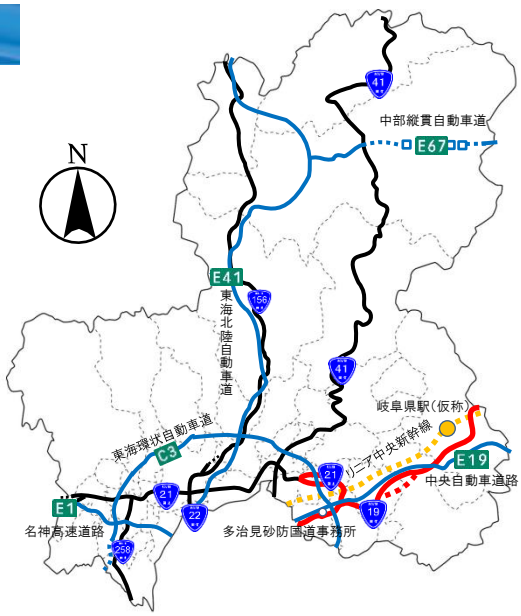
基本方針

概要

多治見砂防国道事務所管内の道路は日本のほぼ中心に位置し、古くから東西交通の中継点として重要な役割を果たしてきました。

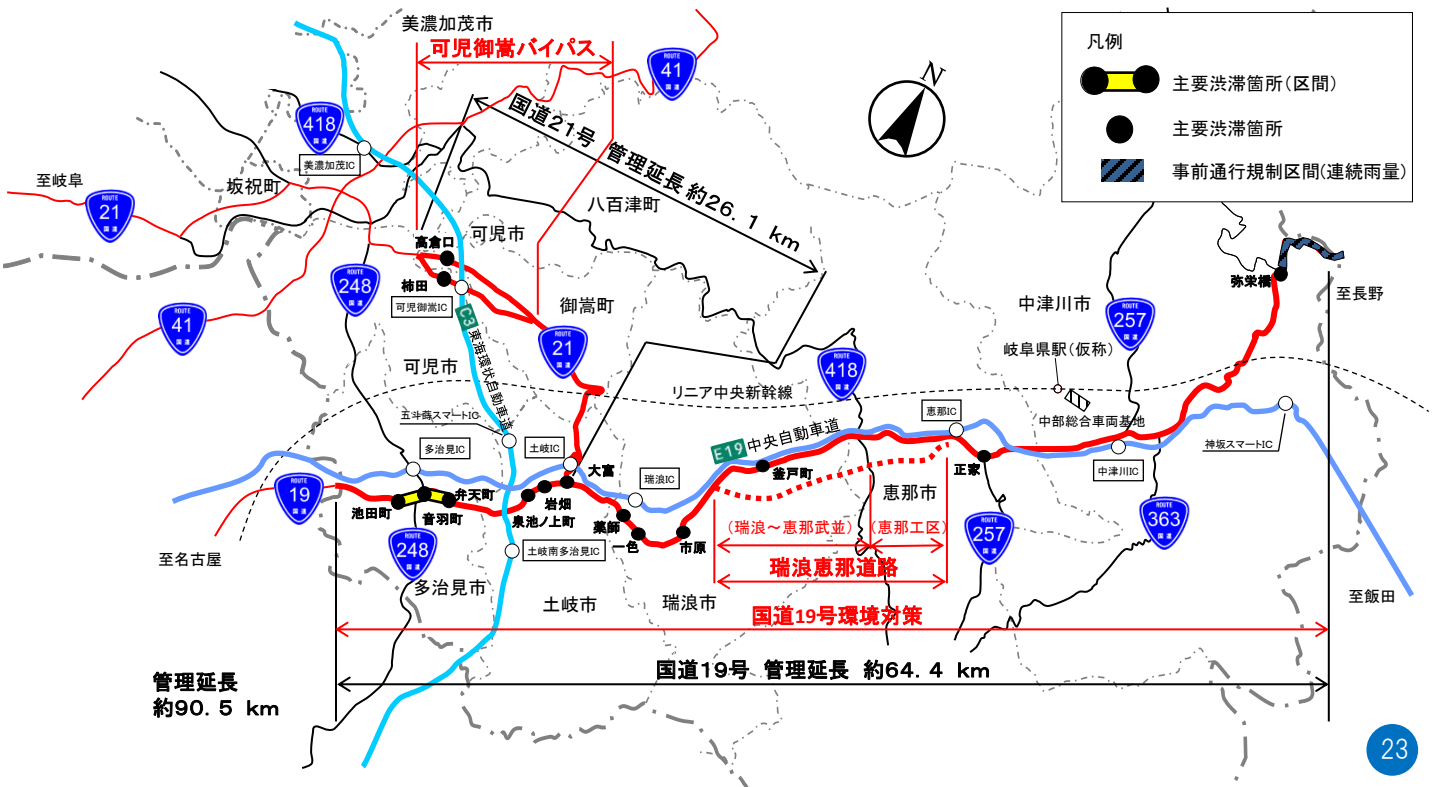
現在も国道19号、21号の果たす役割は重要であり、他圏域との交流や東濃地域の都市間交流を支えています。

また、リニア中央新幹線の岐阜県駅（仮称）が中津川市に整備される予定であり、東濃地域が一体的に発展するための基盤整備が求められています。



整備方針

◆渋滞緩和	主要渋滞箇所やボトルネックの解消
◆事故件数の削減	歩行者にやさしいみちづくりと走りやすい道路の整備
◆沿道環境の改善	騒音の軽減と市街地の交通分散
◆災害に強い道づくり	大雨や地震等の自然災害に強い道路の整備
◆地域活性化支援	リニア中央新幹線の波及効果を最大化する道路の整備



瑞浪恵那道路（みずなみえな）

国道19号瑞浪恵那道路は、瑞浪市と恵那市を結ぶ延長12．5kmの区間で、渋滞・事故等の交通課題の解消や、沿線の地域開発支援を目的に計画された道路です。また、リニア中央新幹線の開業を見据えた広域観光連携や企業立地など民間投資の促進に寄与することが期待されています。

平成27年度に瑞浪市土岐町～恵那市武並町までの延長8．2kmが事業化し、平成30年度に恵那市武並町～長島町までの延長4．3kmが事業化しました。

今年度の事業内容

◆関係機関協議、地質調査、用地調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、道路詳細設計、用地買収、移転補償、改良工、橋梁上下部工等を実施。

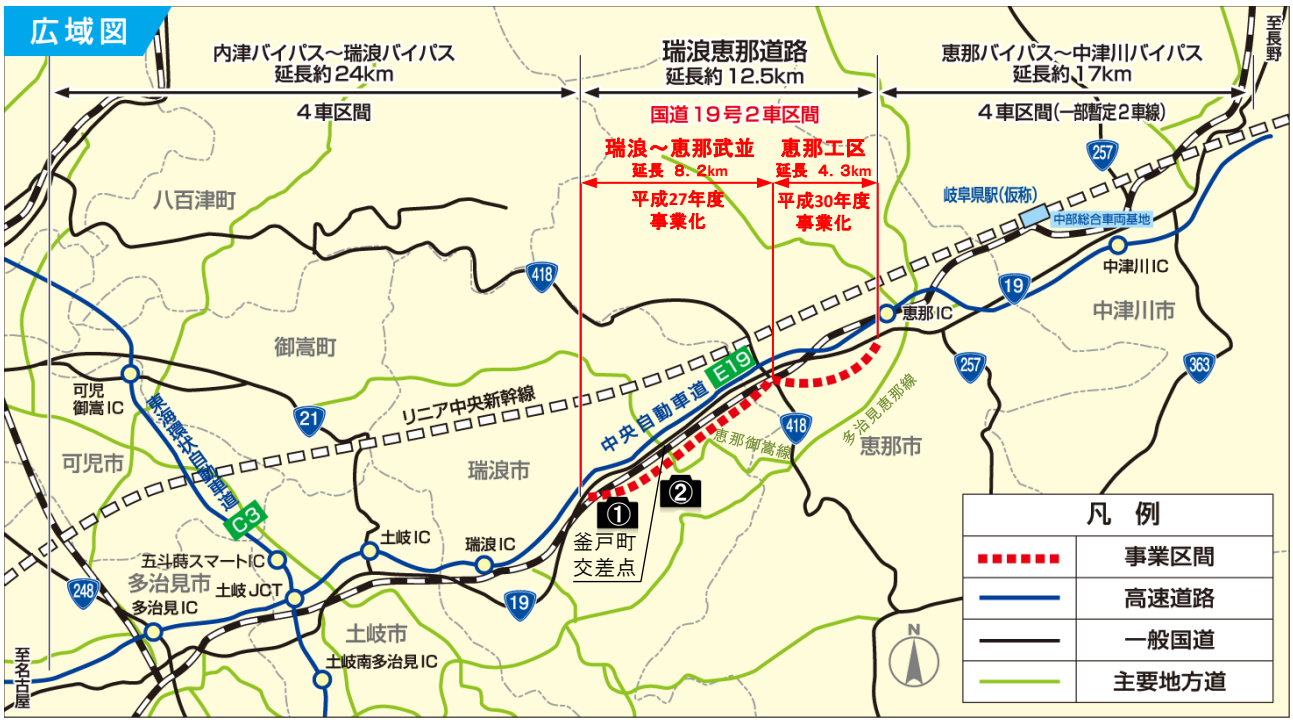
【釜戸町の渋滞】



国道19号釜戸町交差点混雑状況（下り）



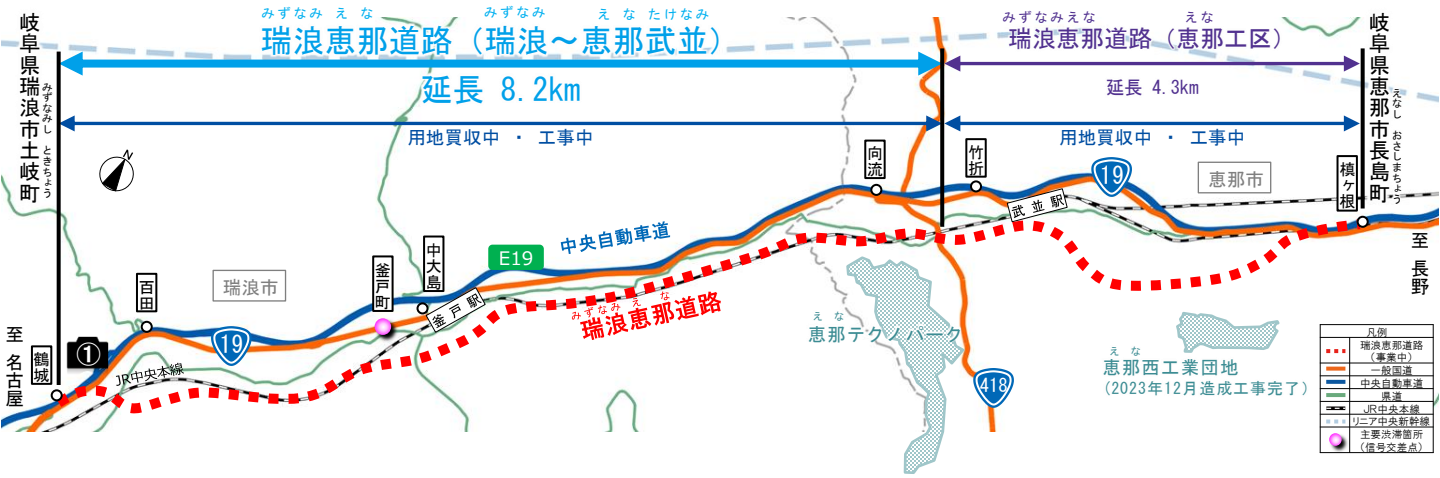
瑞浪恵那道路計画箇所（主要地方道恵那御嵩線交差箇所）



Road

改築事業　瑞浪恵那道路の進捗状況





事業の流れ

いまココ

事業化 → 測量 → 設計 → 用地 → 工事 → 完成

瑞浪～恵那武並	2015. 4 2015. 8～9	2015. 11. 21	2017. 3～6	2017. 12. 3	2026年度
	事業化 事業説明会	中心杭打ち式	設計説明会	着工式	調　査 用地買収 工 事 中

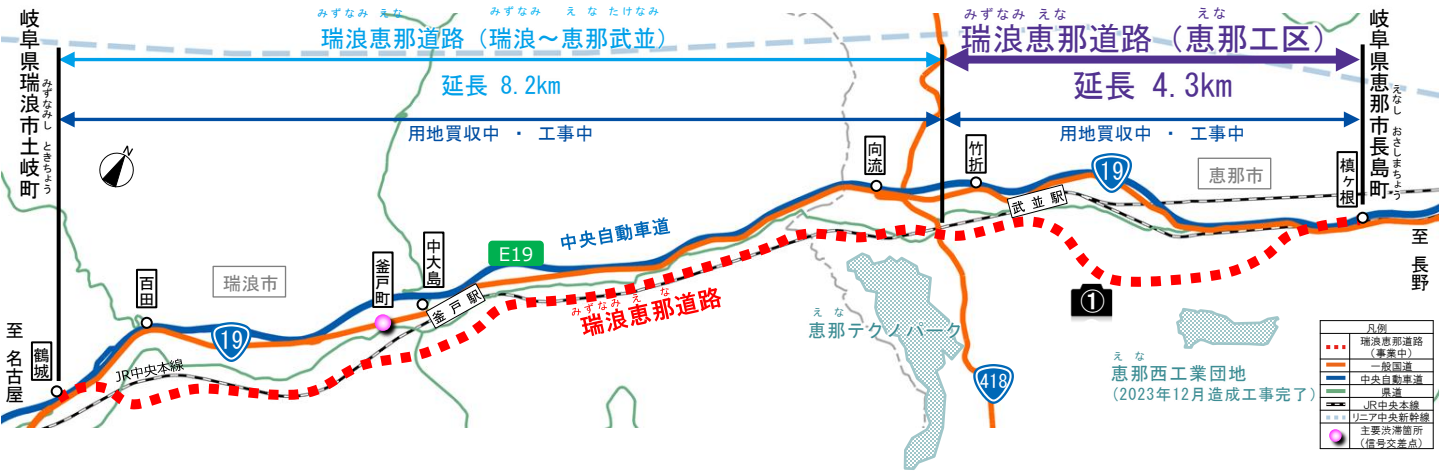
●2017年12月3日(日)瑞浪市鶴城交差点付近において着工式を開催し、起点部(土岐町地内)より施工を進めてきました。
●2019年より橋梁工事に着手しています。
●2026年度は、引き続き、改良工事、橋梁上部工事、用地買収、移転補償を推進していきます。


設計説明会(第2回) 2017年5月30日



着工式 2017年12月3日





事業の流れ

いまココ

事業化 → 測量 → 設計 → 用地 → 工事 → 完成

恵那工区					
	2018.4 2018.8	2018.10.27	2019.9～10	2022.10.30	2026年度
	事業化 事業説明会	中心杭打ち式	設計説明会	着工式	調　査 用地買収 工事中

●2022年10月30日（日）恵那市武並小学校において、着工式を開催し、武並町地内より施工を進めています。
●2026年度は、引き続き、改良工事、橋梁下部工事、用地買収、移転補償を推進しています。


設計説明会2019年9月10日



着工式2022年10月30日

Road TOPICS

瑞浪恵那道路のストック効果

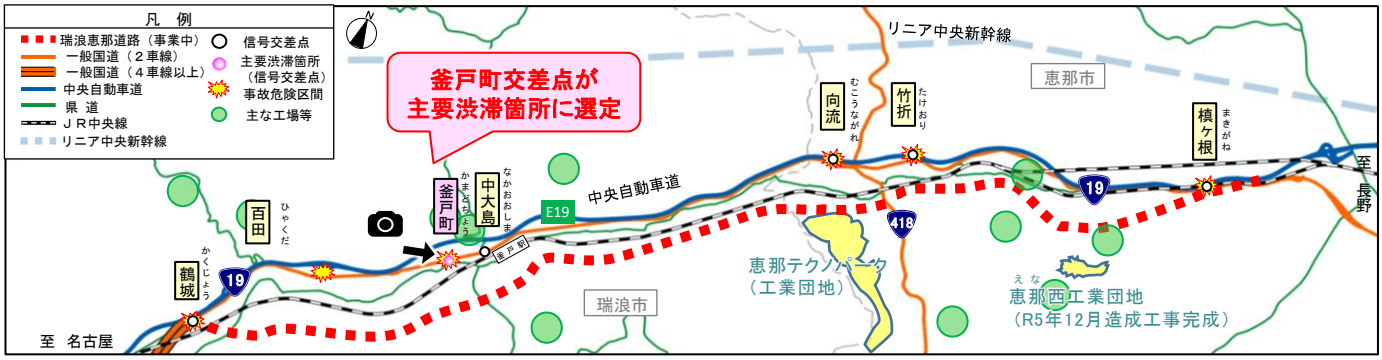
渋滞緩和により走行性が向上します。





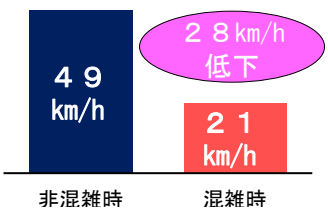
- 瑞浪市と恵那市を結ぶ一般国道19号には、沿線に立地する工業団地や周辺企業の物流交通、生活交通等が集中することに加え、主要渋滞箇所（釜戸町交差点）が存在するなど、渋滞や交通混雑が発生しています。
- バイパスである瑞浪恵那道路が整備されることで、通過交通が瑞浪恵那道路へ転換されることで、国道19号の混雑度低減など、渋滞緩和による交通円滑性の向上が期待されます。

瑞浪市～恵那市の国道19号の課題箇所



一般国道19号の渋滞状況（旅行速度差）

〈平日〉※下り方向：鶴城交差点→釜戸町交差点



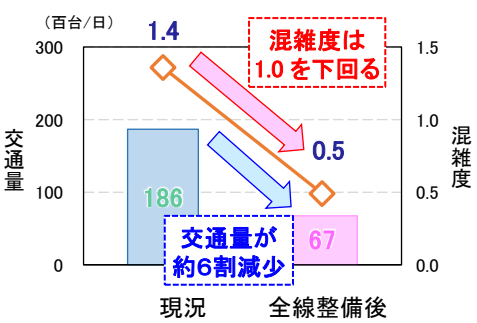
混雑時・非混雑時の旅行速度差が大きい

〈休日〉※上り方向：向流交差点→釜戸町交差点



【出典】ETC2.0プローブデータ（R7.10月）
［平日］非混雑時：9時台、混雑時：7時台
［休日］非混雑時：7時台、混雑時：17時

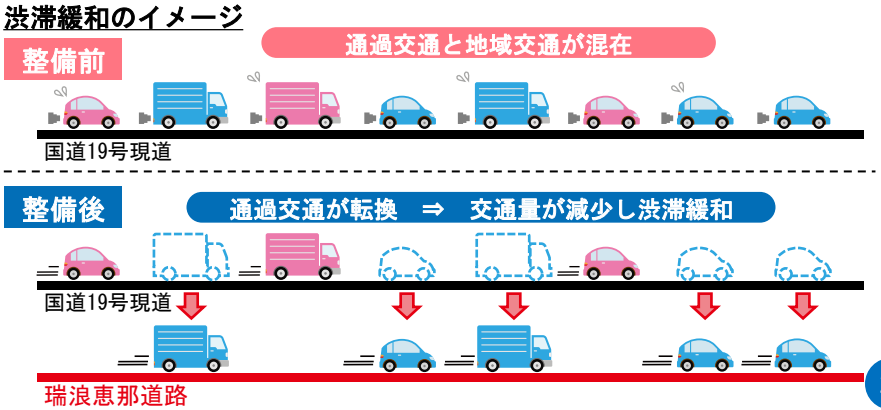
国道19号の交通量・混雑度



【出典】全国道路・街路情勢調査（R3）
交通量推計結果（H27ベース：将来[R22]）
※国道19号（鶴城～槙ケ根）の加重平均値

通過交通と地域交通の混在が解消

渋滞緩和のイメージ

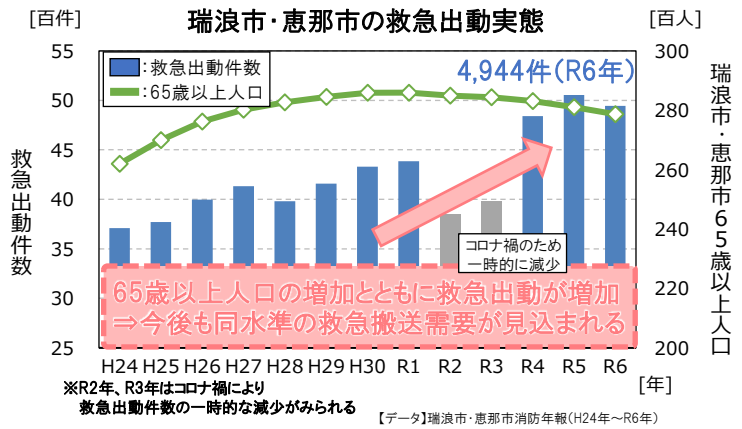


地域の緊急医療・救急搬送に寄与します。



- 瑞浪市・恵那市の救急搬送件数は増加傾向にあり、今後も同水準の救急需要が想定されることから、**救急搬送の速達性・定時性・信頼性が重要**です。
- 中央道・国道19号を利用する場合、**事故や渋滞などの発生**により救急搬送に影響することがあります。
- **瑞浪以西に高次医療機関が点在**しており、路線の整備が**恵那市～瑞浪以西の病院**への救急搬送に寄与することが期待されます。

地域の救急出動件数の推移



※R2年、R3年はコロナ禍により救急出動件数の一時的な減少がみられる

【データ】瑞浪市・恵那市消防年報(H24年～R6年)

救急隊の声

- 救急搬送は**国道19号を利用**することが多いです。
- **事故や渋滞により現場到着に時間を要する**ことがあります。

瑞浪市消防本部ヒアリング結果(R2年11月)

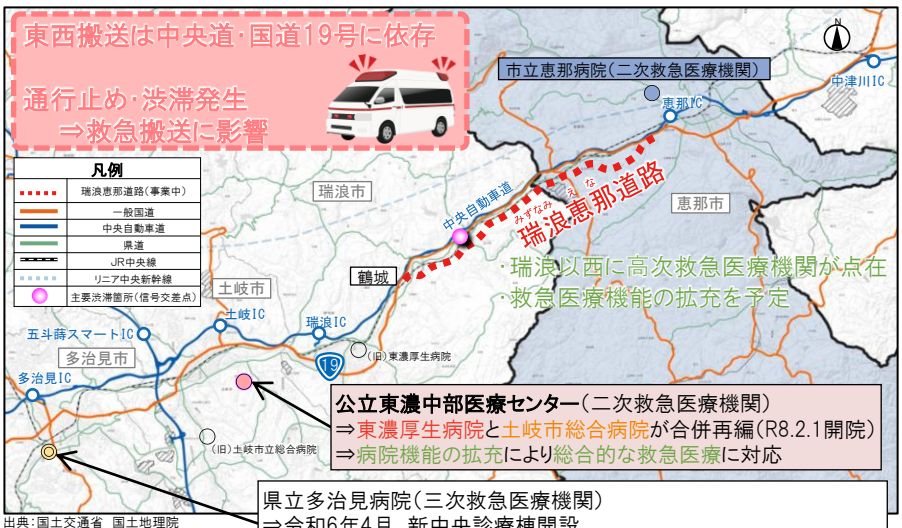


- **瑞浪市以西に病院への搬送**も行うことがあります。
- 瑞浪恵那道路の開通により**緊急医療サービスの向上**に繋がると期待されます。

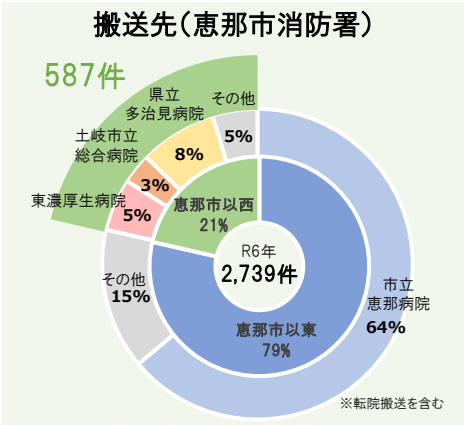
恵那市消防本部ヒアリング結果(R2年11月)



救急搬送の課題と期待される効果



出典：国土交通省　国土地理院



恵那市の人員搬送のうち約1/4は瑞浪以西へ搬送
⇒1日に約2件(587件R6年)

【データ】恵那市消防年報(R6年版)

瑞浪恵那道路が地域の救急搬送の速達性・定時性・信頼性等に寄与

Road

TOPICS 瑞浪恵那道路のストック効果

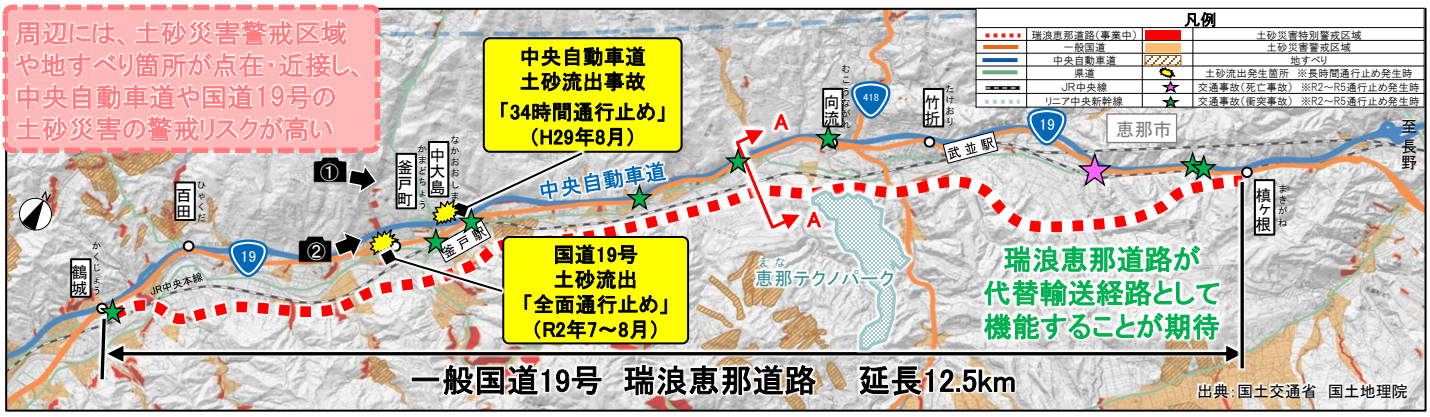


安全性・信頼性の高い道路ネットワークが構築されます。

② 国道19号土砂流出の状況（R2年7月）

- 国道19号は、重大事故につながりやすい正面衝突事故比率が高く、安全性および事故による通行止めリスクが課題。
- また国道19号は、**狭隘な地形**に中央自動車道と並走しており、**土砂災害等による道路寸断のリスク**も存在し、平成29年8月には中央自動車道で、令和2年7月には国道19号で**土砂流出による通行止めが発生**しました。
- 瑞浪恵那道路の整備により、事故や土砂災害による通行止め時に迂回可能な**信頼性の高い道路ネットワーク**を構築するとともに、国道19号の交通負荷が軽減し**交通事故減少**による**安全性向上**が期待されます。

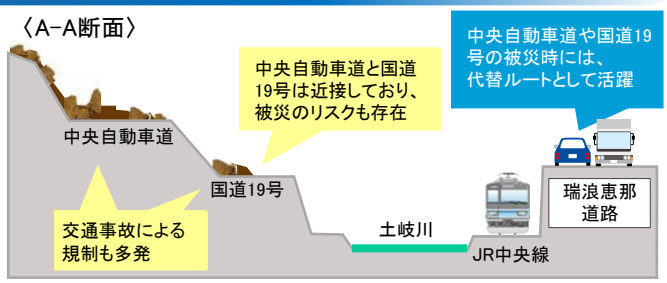
狭隘な地形と国道19号沿線の土砂災害危険性・交通事故発生箇所





狭隘な地形に中央道・国道19号・県道が集中

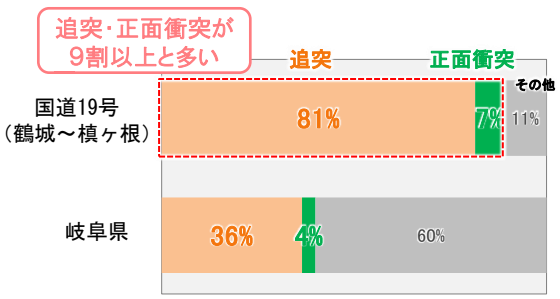
災害発生時の代替ルートの確保



土砂災害・交通事故による通行止めリスクが高い ▶ 瑞浪恵那道路により代替ルート確保

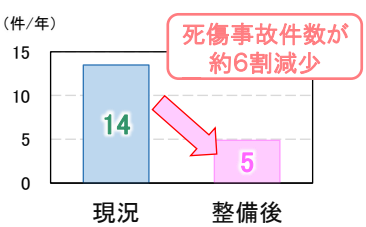
一般国道19号の交通事故件数

国道19号の事故件数



【出典】交通事故統合データ［R2～R5］（（公財）交通事故総合分析センター）

国道19号の事故減少効果



【出典】交通事故統合データ［R2～R5］（（公財）交通事故総合分析センター）
※R2～R5の平均件数、鶴城～槙ヶ根の合計値
交通量推計結果（R3ベース：将来［R22］）

国道１９号現道で発生した交通事故



R6.3 撮影

観光産業の活性化を促します。

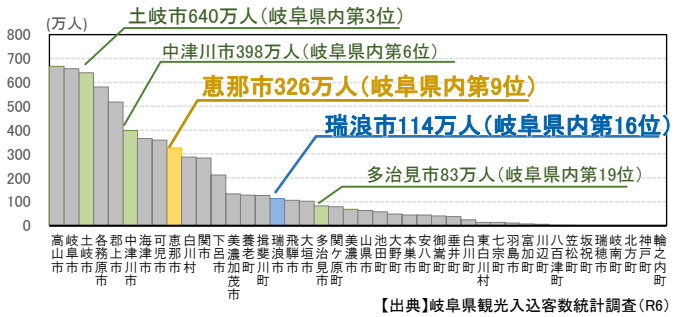


- 瑞浪市と恵那市の観光入込客数は年間**約440万人**です。
- 瑞浪恵那道路は点在する観光施設を繋ぐ**周遊ルートとして観光交通の円滑化**に寄与します。
- リニア中央新幹線（開業時期未定）を利用する観光客に対し、瑞浪恵那道路による周遊観光が可能となることから**観光産業のさらなる活性化**が期待されます。

周辺観光地と周遊ルート



瑞浪市・恵那市の観光入込客数



【出典】岐阜県観光入込客数統計調査（R6）

観光産業関係者の声

- 瑞浪恵那道路整備による**観光の周遊性向上に伴い、立ち寄り客の増加**に期待しています。

【出典】道の駅らっせいみさとヒアリング結果（H31.1月）

道の駅

- リニア岐阜県駅へのアクセス及び首都圏との往来が容易になることで、**ビジネス・観光人口の増加に期待**できます。
- また、リニアの開業を見据えた、**広域観光連携や企業立地など民間投資の促進に寄与することが期待**できます。

【出典】恵那市役所ヒアリング結果（R6.1月）

恵那市役所

Road TOPICS

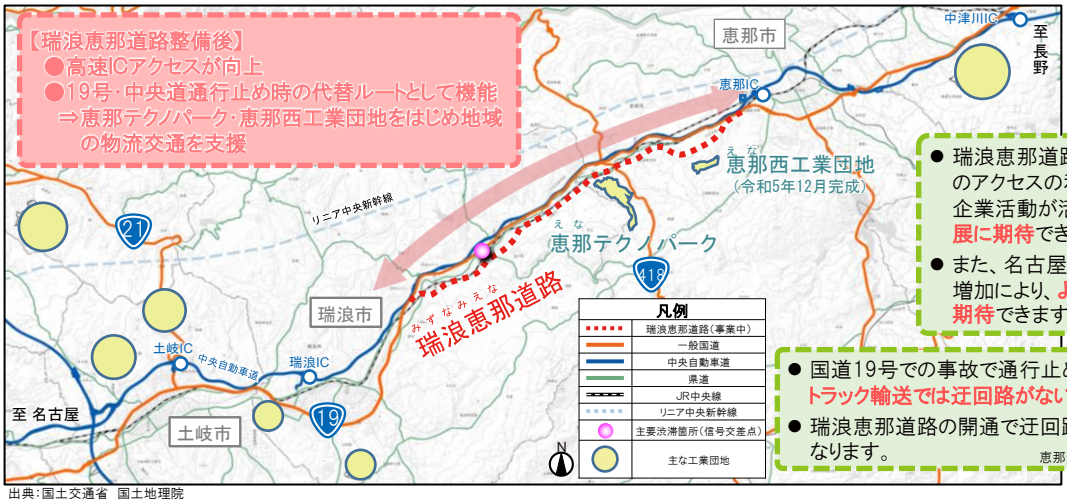
瑞浪恵那道路のストック効果

物流円滑化による企業活動支援
更なる民間投資・雇用創出を促します。


恵那テクノパーク全景　出典：恵那市

- 国道19号沿線には恵那テクノパークのほか**製造業が多数立地**しており、**物流を円滑化し、定時性の確保**を実現することで**企業活動を支援**します。
- 恵那市では、**新たな工業団地（恵那西工業団地）の事業を実施中**です。瑞浪恵那道路の整備と、リニア中央新幹線の開業効果（開業時期未定）もあり、さらなる**民間投資・雇用創出**が期待されます。

国道19号沿線の主な工業団地



出典：国土交通省　国土地理院

関係者機関の声

- 瑞浪恵那道路整備により、恵那ICまでのアクセスの利便性がさらによくなり、企業活動が活性化し、**地域経済の発展に期待**できます。
- また、名古屋市方面からの通勤者の増加により、**より多くの労働者の確保に期待**できます。

恵那市役所ヒアリング結果（R6.1月）



- 国道19号での事故で通行止めや渋滞が発生すると、**トラック輸送では迂回路がない**ため、輸送が遅延します。
- 瑞浪恵那道路の開通で迂回路が確保されると、便利になります。

恵那テクノパーク企業ヒアリング結果（R2.12月）



企業活動の支援・民間投資・雇用の創出

恵那テクノパーク

物流円滑化により企業活動を支援

・敷地：約653,000㎡
・立地企業数：14社
・従業員数：約1,600人

［立地企業の概要］
・鉄道車両用電機品企業 1社
・自動車部品企業 5社
・その他企業 8社



出典：国土交通省　国土地理院　空中写真

恵那西工業団地

・敷地：約16㎡
・区画数：3区画

［分譲面積］
・A区画　約43,400㎡
⇒分譲中
（R8年4月分譲開始）
・B区画　約33,800㎡
⇒R7年4月より稼働開始
・C区画　約41,900㎡
⇒R6年2月引き渡し完了
稼働時期未定

新規工業団地　工事完了（R5年12月）
順次　分譲・引き渡し
⇒　民間投資・雇用創出



出典：恵那市

岐阜19号環境対策

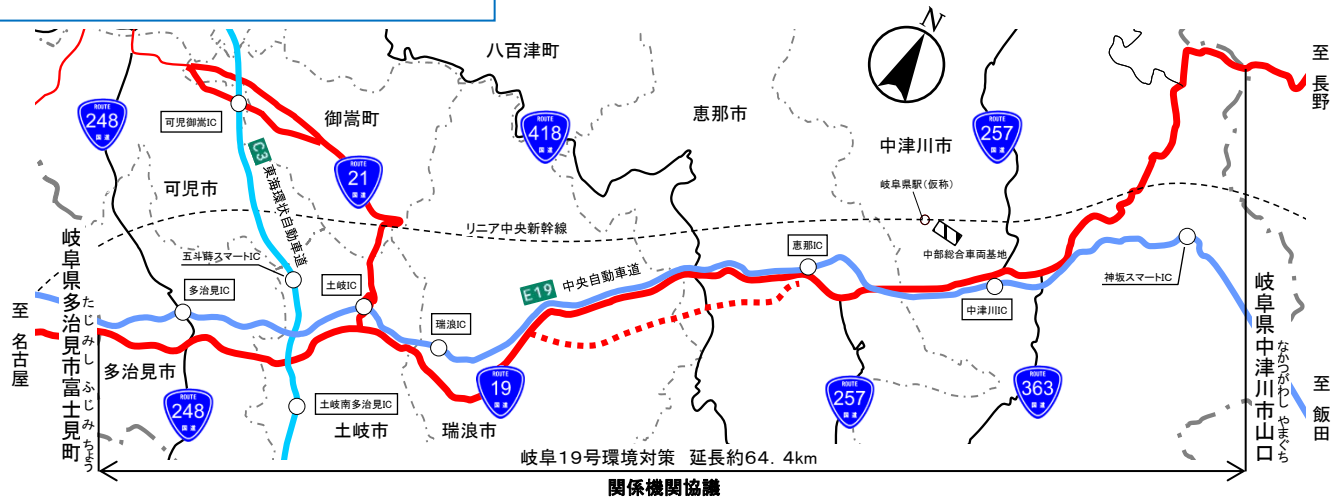


●騒音対策(低層遮音壁)の実施状況(瑞浪市釜戸町)

岐阜19号環境対策は、国道19号の多治見市富士見町から中津川市山口において、大型車混入率が高く、騒音レベルが高い区間の沿道環境を保全することを目的とする環境整備事業です。

今年度の事業内容

◆関係機関協議を実施。



可児御嵩(かにみたけ)バイパス

国道21号可児御嵩バイパスは、現道21号の交通混雑の緩和、交通安全の確保とともに、東海環状自動車道可児御嵩ICへのアクセスの確保、ならびに可児御嵩地区の地域開発の支援を目的とする道路です。

平成22年度に全線8.0kmを暫定2車線開通し、平成30年3月に可児御嵩インター付近において延長約1.3km、令和3年2月に上恵土地区において延長約0.8km、令和4年3月に御嵩町御嵩付近において、延長約0.6kmが4車線開通しています。

今年度の事業内容

◆関係機関協議を実施。



Road TOPICS 可児御嵩バイパスのストック効果

周辺企業の活動を支援、民間投資・雇用創出を促進します。



- 可児御嵩バイパス沿線地域には**工場や工業団地が多く立地**しており、また**可児御嵩IC周辺に新たな工業団地が整備予定**であり、令和6年度から分譲を開始しています。
- 可児御嵩バイパス整備後の交通渋滞緩和により、**可児御嵩ICや各工業団地へのアクセス性が向上**し、**物流の円滑性向上**及び**沿線団地への通勤時間短縮**等を支援します。

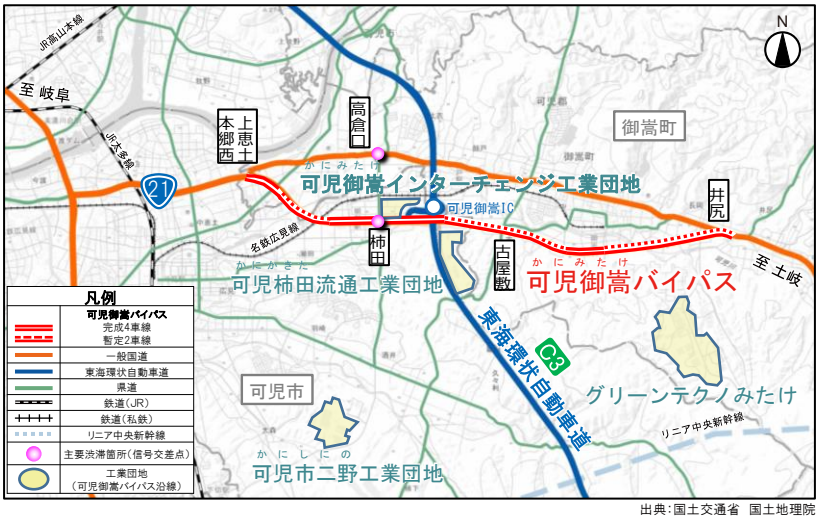
可児御嵩バイパス周辺の主な工業団地

可児御嵩インターチェンジ工業団地

可児御嵩インターに新規工業団地整備中
⇒ R6年7月から分譲開始



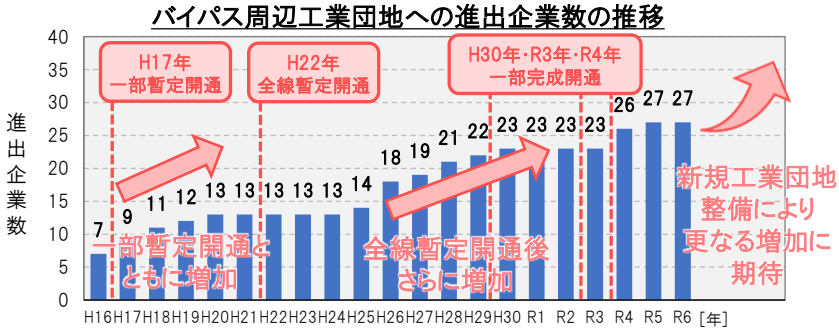
IC隣接地約17.1haに、雇用機会の創出
移住・定住人口の増加そして地域の活性化
を目的に、新たな工業団地を整備



出典:国土交通省 国土地理院

企業活動の支援・民間投資・雇用の創出

バイパス周辺工業団地への進出企業数の推移



【データ】可児柿田流通工業団地(可児市)、可児市二野工業団地(可児市)※、グリーンテクノみたけ(御嵩町)の稼働事業所を集計
(各事業所のホームページ等を参照)
※可児市二野工業団地は開発前に立地していた事業所を含む
※可児御嵩インターチェンジ工業団地は、R8.4月より1社操業予定、R10より2社が操業予定

関係者機関の声

- 国道21号のポテンシャルが高まることで、**市内経済の向上・産業の振興**等、新たなまちの活性化や広域的な周辺都市との交流が期待されます。
- また可児御嵩バイパスの全線4車線化は、可児御嵩インターチェンジ工業団地に企業が進出した際の、**交通量増加に伴う交通渋滞の緩和**に寄与するものであり、**早期実現を望みます**。

【出典】ヒアリング結果(R6.1月実施)



維持管理事業

24時間365日、安全・安心に通行できるだけでなく、国土の骨幹となる道路として地震等の災害時にも緊急物資の輸送ができるように道路管理事業を実施します。

道路の補修・防災対策

今年度の主な事業内容

◆橋梁等の道路施設の補修工事、構造物点検等。
◆自治体職員への橋梁点検講習会。
◆道路防災点検。
◆国道21号における亜炭坑充填工事。

◆道路施設の補修工事、構造物点検（道路メンテナンスの実施）
利用者の方々が安心して利用できるように、道路施設の点検から補修、防災対策等のメンテナンスを実施しています。

1．道路橋の点検から補修工事の実施まで
わが国の道路構造物は高度成長期に一斉に整備され、建設後50年経過した構造物が今後本格的に補修・更新の時期を迎えようとしています。特に橋梁は、中部地方整備局管内でも重大な損傷による交通障害が懸念されています。また、当事務所の建設後50年経過する橋梁は、10年後に全体の7割弱に達します。
このため、点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルを確実に推進し、橋梁の保全に努めています。


橋梁点検


損傷部位の確認


損傷部位の補修

2．その他の道路施設の点検等
トンネル、擁壁、標識、道路照明等の道路施設については、点検及び補修設計・補修工事を実施し、道路施設等の保全に努めています。


トンネル点検（高所作業車）



標識点検（高所作業車）


歩道橋点検（高所作業車）

Road

維持管理事業

◆道路メンテナンス（自治体支援）
地方自治体職員の技術力向上を目指して、橋梁点検の講習会を実施します。

◆防災対策・災害復旧
管内道路に災害の危険がある箇所について防災点検等を実施します。点検結果に基づき、対策が必要と判断された箇所については、計画的に防災対策を実施します。
また、管内道路が被災した場合には、災害復旧工事等を実施します。迅速な復旧が行える管理体制の確保に努めております。

◆点検支援技術の導入
点検業務においては、定期点検の高度化・効率化を図るとともに、新技術の開発促進を図るために、点検支援技術を活用します。

◆その他の道路施設
可児市・可児郡御嵩町地内では、戦前～戦後間もなくまで亜炭（質の悪い石炭）が採掘されており、その跡（亜炭坑）が今も残されています。国道21号可児郡御嵩町地区において、地震発生時に陥没のおそれのある亜炭坑に、充填工等の対策を実施することで、地震発生時における被害の軽減を図ります。
平成26年度から亜炭坑の状況確認調査、充填工事を実施しており、令和8年度も引き続き、充填工事を実施します。

自治体支援



橋梁点検講習会



打音検査の実習



点検支援技術の導入紹介
（ポールカメラ）

防災対策・災害復旧



落石防止網（ロープ伏）工





災害復旧工事（被災発生：R3.8.13、復旧工事完成：R4.12.28）
（令和3年8月豪雨での国道19号中津川市落合における被災対応）

亜炭坑対策



亜炭採掘跡（廃坑内部の様子）





亜炭坑充填工事の様子

日常の道路管理　～　365日安全に通行できるように　～

道路維持管理計画（案）に基づく効率的・効果的な点検・道路施設の損傷部等の維持補修、冬期の雪氷作業の実施により安全・安心な通行を確保します。

今年度の主な事業内容

◆道路施設の点検・損傷部等の補修・日常的な維持作業（道路巡回、除草、除雪）及び特車取締りを実施。


道路施設の点検


道路損傷部の補修


道路巡回による作業


特殊車両の取締り


除草作業

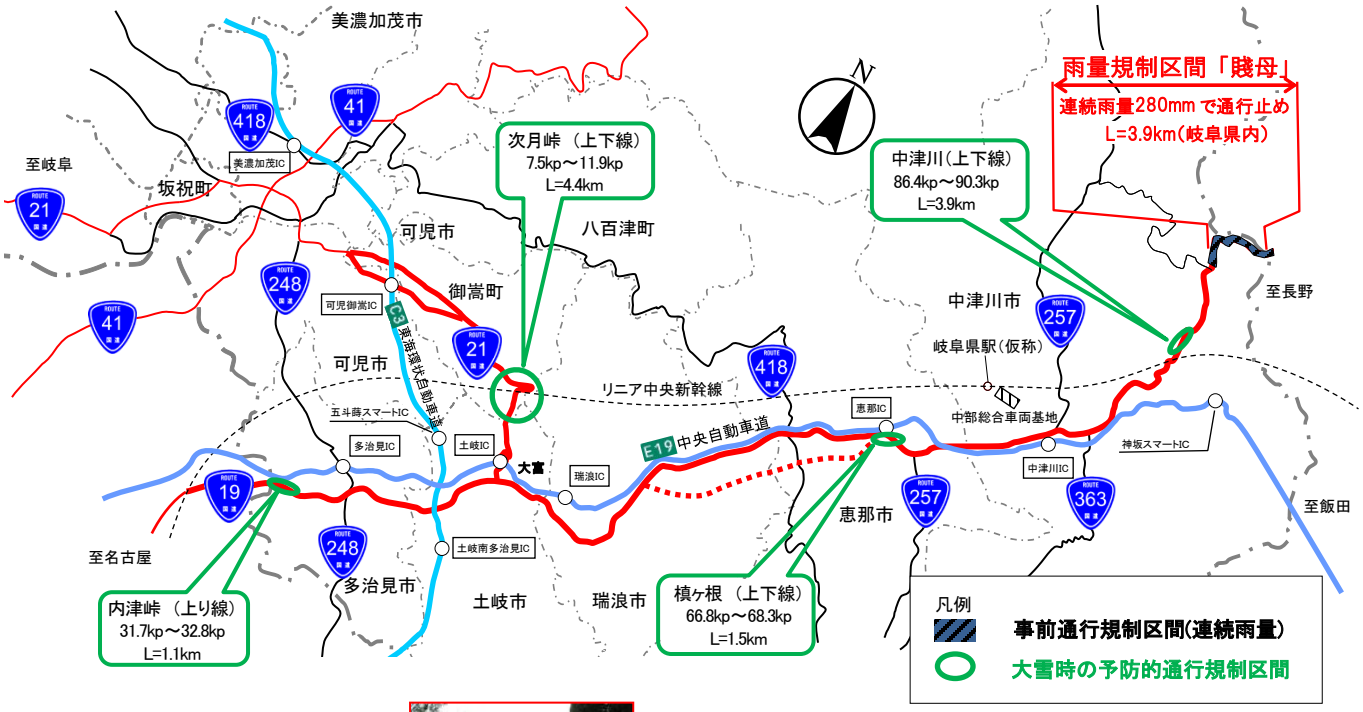


冬期の雪氷作業

維持管理事業

緊急時の道路管理　～　緊急時に備えて　～

大雨(大雪)・地震時等の異常気象や災害発生時に早急な初動体制を整え危機対策を実施し道路利用者の安全を第一に交通の確保に努めます。また災害に備えた訓練を実施し、災害時の迅速な対応に努めます。
なお、雨量規制区間である「賤母」については、防災対策工事が完了したため、学識経験者の見解も踏まえ、令和7年9月に雨量規制基準を連続雨量150mmから280mmへ緩和しました。





大雨による現地通行止めの実施

通行規制ゲート


大雪による除雪作業の実施


道路啓開訓練(立ち往生車両の移動訓練)


大雨時の通行規制訓練(遮断機操作訓練)

交通事故対策　～　交通死亡事故件数の削減に向けて　～

交通安全事業として、歩道空間の整備、交差点改良、区画線や道路標識に代表される交通安全施設等の整備を行い、安全で快適な道路空間の確保を行います。

今年度の主な事業内容

◆交通事故対策の検討
◆交通事故対策工事の実施
◆歩道空間の整備

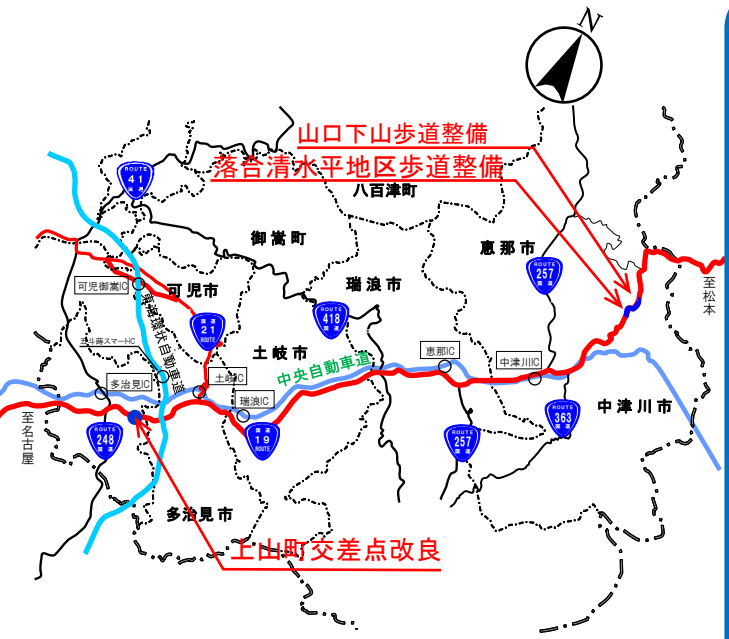
歩道整備



【 国道19号山口下山歩道整備（中津川市）】
【 国道19号落合清水平地区歩道整備（中津川市）】

大型車が多く走る地区にもかかわらず、歩道が整備されておらず、歩行者が安全に通行することができない状態となっているため、歩道整備工事を進めていきます。

交差点改良





【 上山町交差点改良（多治見市）】

当該交差点は、右折車線の滞留により直進車線の阻害が発生し、急ブレーキの発生割合が高くなっています。
安全性向上のため右折車線の延伸を進めていきます。

交通安全対策

対策事例

歩道整備

安全、安心な歩道整備のため、歩道未整備区間の事業進捗を図っています。

山口第十区（中津川市）

整備前



整備後



交差点改良

交通事故対策として、交差点の右折レーンを移動（対向車線との正対化）して、安全性を向上させています。

原西（恵那市）

整備前



整備後



交通安全施設

合流箇所においてポストコーン（矢印表示）を設置して、逆走防止対策を行っています。

四ツ目（中津川市）

整備前



整備後



地域との協働　～　地域と一体になって取り組む　～

各種ボランティア団体と協働での沿道美化活動など、沿線地域と一体となった道路管理を実施しています。

ボランティア・サポート・プログラム等


市原長寿クラブ


（株）吉川工務店


（株）藤本組＆多治見北高等学校



（株）市川工務店

令和7年度「道路ふれあい月間」道路愛護　国土交通大臣表彰（株式会社藤本組）



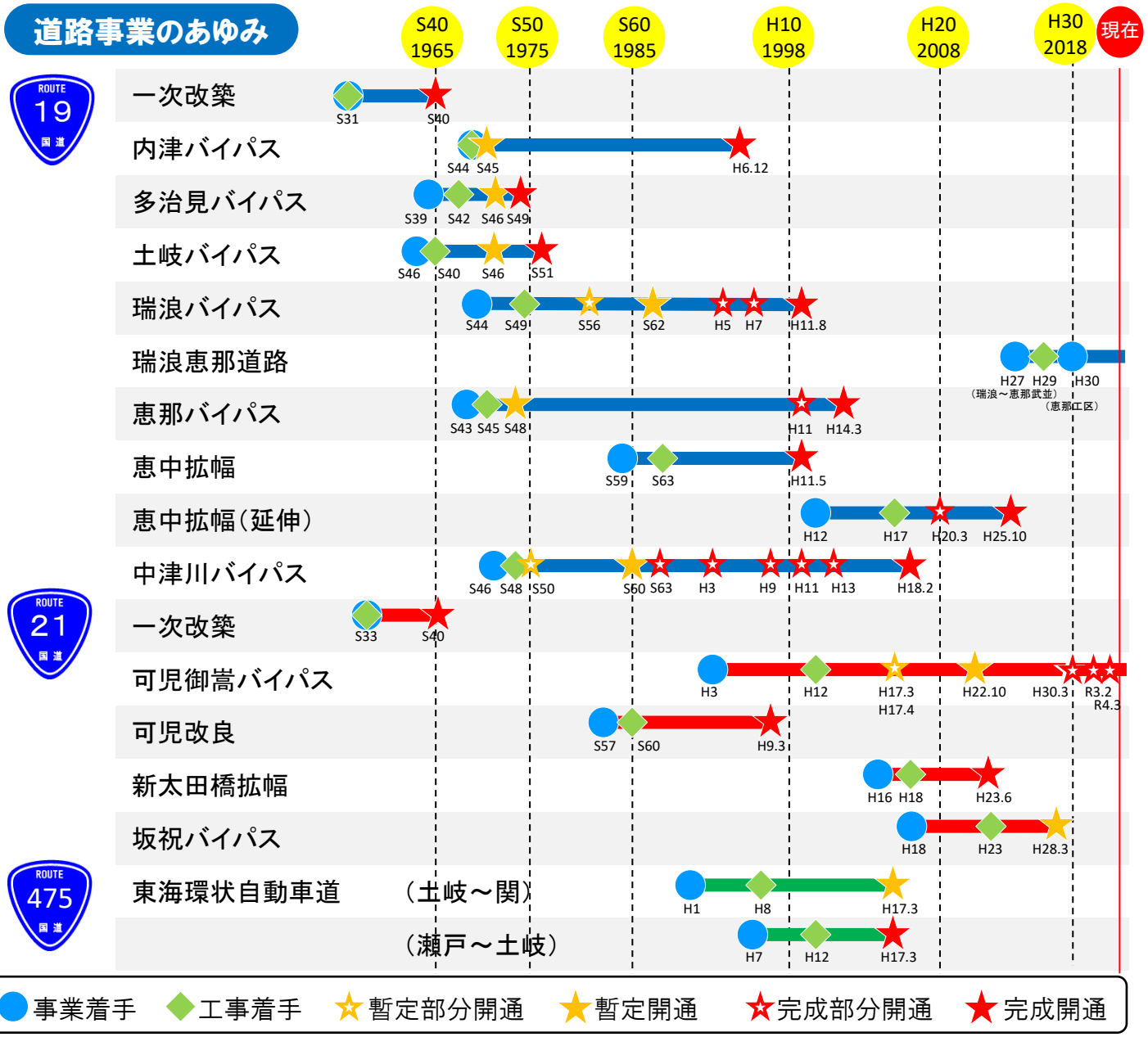


主な事業実施箇所別事業費

単位：百万円

工種	路線名	市町村名	事業名	事業費
改築	19	瑞浪市～恵那市	瑞浪恵那道路（瑞浪～恵那武並）	2,687
改築	19	恵那市	瑞浪恵那道路（恵那工区）	1,981
改築	19	多治見市～中津川市	岐阜19号環境対策	10
改築	21	御嵩町～可児市	可児御嵩バイパス	10
交通安全	19	中津川市	山口下山歩道整備	20
交通安全	19	中津川市	落合清水平地区歩道整備	27
交通安全	19	多治見市	上山町交差点改良	97

道路事業のあゆみ

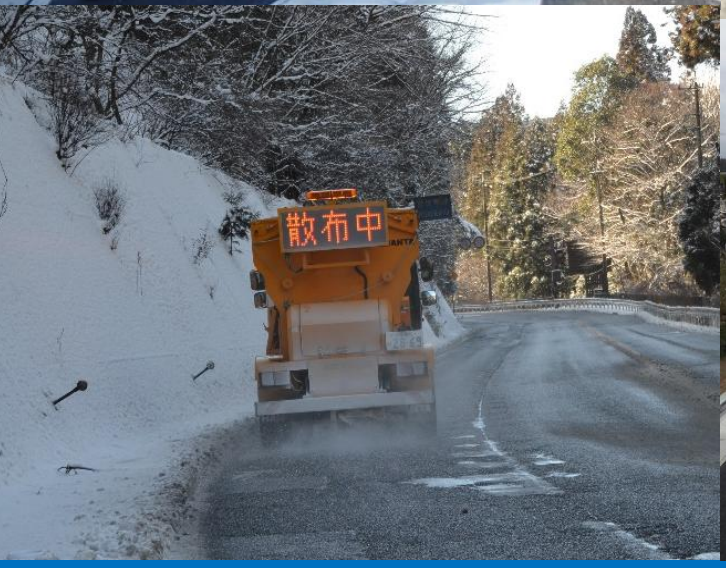











散布中



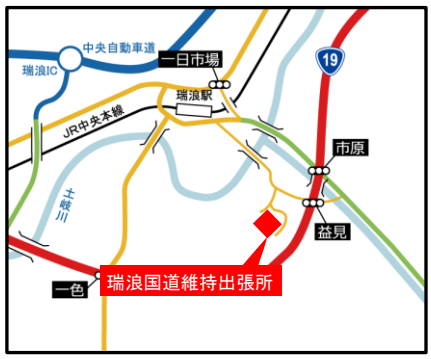
▼各機関へのアクセスおよび連絡先











国土交通省　中部地方整備局
多治見砂防国道事務所
〒507－0023　岐阜県多治見市小田町4－8－6
TEL　0572－25－8020(代)

□ 総務課	TEL 0572-25-8020	□ 工務第一課	TEL 0572-25-8023
□ 経理課	TEL 0572-25-8021	□ 工務第二課	TEL 0572-25-8025
□ 用地第一課	TEL 0572-25-8022	□ 道路管理課	TEL 0572-25-8027
□ 用地第二課	TEL 0572-25-8176	□ 砂防調査課	TEL 0572-25-8024
		□ 計画課	TEL 0572-25-8026

□ 中津川出張所	TEL 0573-66-1353	〒508-0045	中津川市かやの木町4－1
□ 上松出張所	TEL 0264-52-4863	〒399-5605	長野県木曽郡上松町栄町2－9
□ 瑞浪国道維持出張所	TEL 0572-68-4591	〒509-6108	瑞浪市益見町2－99

ホームページアドレス
https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/

多治見砂防国道事務所 Facebookページ クリック!

道路はこちら　砂防はこちら

多治見砂防国道事務所 X(旧 Twitter) クリック!

R8.4